臺灣日日新報 夕刊
十月十五日

銘酒 楓白鹿

秩父宮兩殿下 晴れの御歸朝
御使命を果されて

【東京十五日發同盟】今春英國皇帝戴冠式に　天皇陛下の御名代として御渡英、輝しき御使命を果させられた秩父宮同妃兩殿下には松平式部長官以下を從へさせられ爽涼の氣充つる十五日午後一時半御乘船淺間丸にて橫濱に御入港、御機嫌麗はしく御八ヶ月振りに御歸朝あらせられた、兩殿下には御旅中畏くも東亞の風雲を御軫念、御病後の御身を以て獨逸、和蘭、瑞西を御訪問の外は御豫定を御取り止め、急ぎ御歸途につかせ給へると承はるに御いたつきの御後とも拜されぬ御元氣な御樣子に奉迎者一同國難克服に邁進する心も喜びに燃えて迎へ奉れば兩殿下にも御感深げに拜され、午後二時二十分橫濱港驛御發車、臨時列車にて同三時五分東京驛御着車、御機嫌麗はしく一旦赤坂表町の御殿に御歸還、それより午後四時半御參內、　天皇陛下に御對顏御使命を御復命遊ばされた

橫濱御入港

【橫濱十五日發同盟】輝やかしき御歸朝を御迎へ申上げる橫濱市は戶毎に國旗を掲げて朝來慶びの色に溢つ、波靜かな港內の船舶の滿船飾に秋風爽かに渡り、四號岸壁を始め埠頭には橫濱市の男女學生、在鄉軍人、青年團等ひしひしと奉迎の位置に整列、百武橫鎭司令長官、半井神奈川縣知事、青木橫濱市長、青木縣會議長、田邊市會議長以下有資格者も參着、勅使百武侍從長、皇太后陛下御使大谷大夫、高松宮同妃兩殿下、三笠宮殿下を始め各皇族方、松平宮相、木戶總裁、クレーギー英大使、其の他文武諸官は四號上屋に御出迎へ申上げた、之より先き御乘船淺間丸は港外に假泊、やがて巨船は靜かに港內に進入、岸壁に近づく、拜すれば秩父宮殿下には御軍服に勳章を佩びさせられ妃殿下にはローブモンタントの御姿にてAデッキに御出ましになり、岸壁の上、手に手に小旗打ち振る一同の奉迎に答へさせられたが、近づくにつれて御笑顏をさへ拜する畏く、上屋に御迎へ遊ばす皇族方とも幾回となく御手を擧げさせられて御挨拶を交はさせられ船體が岸壁に橫付けになるや　天皇、皇太后兩陛下勅使、御使、皇族方を始め文武官等は船內まで御迎へ申上げた、兩殿下にはAデッキの喫煙室にて勅使・御使並に皇族方に御對面、御歸朝の御挨拶を交はさせられ次いでラウンヂに入らせられ松平宮相、百武橫鎭司令長官、半井知事、青木市長、元尾商船社長、クレーギー英大使等諸官、御親族方に一々謁を賜はり、更にBデッキの食堂に御出ましになり此處にても青木縣會議長を始め文武官等に列立拜謁を賜ひ、日本酒の杯をとらせられて皇族方其他一同と共に御乾杯あらせられた、かくて兩殿下には各皇族方と御揃ひにて御上陸、一般奉迎者に御會釋を賜ひつつ臨時列車に御乘車、午後二時二十分橫濱港驛を御發車東京に向はせられた

東京驛御着

【東京十五日發同盟】御名代宮同妃兩殿下の晴れの御歸京を迎へ奉る帝都は秋空の下に慶色に充ち東京驛から表町御殿までの御道筋には正午過ぎから早くも學生や在鄉軍人、青年團、一般市民等が整列、畏くも奉迎を御遠慮させぬやうにとの有難き思召を拜したにも拘らず一同感激に充ち充ちて奉迎申上げた、御着の東京驛第一歩の東京驛頭第三ホームには閑院參謀總長宮、同妃宮、伏見軍令部總長宮、同若宮、賀陽宮同妃、東伏見宮大妃各殿下方、近衛首相以下文武顯官、各國大公使等威儀を正して奉迎申上げた、かくて午後三時五分臨時列車は第六番線ホームに到着、兩殿下には松平式部長官以下隨員と共に御機嫌麗しくホームに降り立たせられ御出迎への各皇族方と一々御挨拶あり、更に奉迎諸員に對しても御會釋を賜はつて天野東京驛長御先行、近藤運輸事務所長御先導申上げ、各皇族方にも御揃ひにて中央通路を御通過、御車寄にて宮內省より差廻しの菊花御紋章輝やく自動車に兩殿下御同乘、松平式部長官以下隨員並に今村別當等も御供申上げ沿道の心からなる奉迎を受けさせられつつ御八ヶ月振りにて御懷しの表町御殿に御歸還あらせられた

參內遊ばさる

【東京十五日發同盟】御殿に御着遊ばされた兩殿下には午後四時半御揃ひにて宮城に御參內、大奧にて　天皇陛下に御對顏、輝やかしき御使命を御復命遊ばされたが、次いで　皇后陛下にも御對面御挨拶を遊ばし御饗宴、次いで大宮御所に御伺候、皇太后陛下に御歸朝の御挨拶を遊ばされた、尚此の日宮城大宮御所並に各皇族方よりも御祝品の御贈進もあつて御慰勞遊ばされた

空襲、六十二ケ所
大陸の制空權を確保

（東京十四日發本社特電）世界を聳駭させた精鋭無比の我が海軍航空隊が去る八月十四日今次事變始めて出動黃浦江上空に海軍水上機が猛威の片鱗を示し續く翌十五日の第一回南京空爆を敢行以來一擊又一擊海の荒鷲はその威力を發揮し全支に亙り重要軍事據點を空爆今や完全に大陸の制空權を確保するに至つたが今日迄丁度二ケ月その鵬翼下に蹂躙し盡した箇所は實に九省（山東、江蘇、浙江、福建、廣東、江西、安徽、湖北、湖南）六十二箇所に及んで居る

部隊長の身代り
敵の手榴彈を自ら受けて
壯烈な敵壘奪取戰

【上海十三日發本社特電】○○部隊の○○における戰鬪は山口中尉、吉田、富西兩少尉以下多數の壯烈なる戰死者を出す壯烈極まるものであつた、九日午前十一時突擊命令を受けた山口部隊は折柄の豪雨を衝いて敵陣に殺到して行つた、敵陣は前面のクリークを利用して強大な鐵條網をめぐらし敵陣は幅十米深さ一米に渡る頑丈なものだ、敵は此の堅壘に據り機關銃を浴せ頑強なる抵抗を示したが、山口部隊長は軍刀を振り翳し眞ツ先に突入して行つたが敵前十米に迫した時頭部に敵機銃創を受け名譽の戰死を遂げた、吉田、富西兩少尉は部隊長の仇とばかり敵陣の中に突入したが之亦相次いで倒れた、今井一等兵は敵が手榴彈を○隊長に投げつけんとするを目擊し身を以てその前に飛び込んだがその手榴彈の爆發を頭部に受け天晴れ隊長の身代りとなり戰死を遂げた、全線は愈々混亂戰となり部隊長の命令傳達不可能となるや鈴木一等兵は傳令として最前線に突入せんとする際敵彈のため顏面に重傷を受けたが物ともせず血塗れとなつて使命を完全に果し又喇叭手で通る宗野一等兵は此の亂戰の中に最後まで突擊ラッパを吹き續け味方の士氣を鼓舞した、他方我が機關銃隊は民家の屋根より敵陣に猛射を浴せ突擊部隊を掩護し遂に此の堅壘を占領したが敵の遺棄死體無慮三百八十、重機關銃十三、輕機關銃十六を捕獲し凱歌をあげた

堀航空兵團長の參拜
軍司令官、總督を訪問

麾下部隊初巡視の爲來台した東京航空兵團長堀丈夫中將は阿副官、古屋參謀を隨へ十五日午前十時台灣神社に正式參拜を爲し、午後一時半軍司令部に古莊軍司令官を同一時官邸に小林總督を訪問、來台の挨拶を爲した（寫眞は臺灣神社參拜の堀中將）

事變の勃發など 支那漁民は知らぬ
銃後の後援に感謝 ○○艦長談

【○○十四日發】○○から十四日○○に歸つた驅逐艦○○に○○艦長を訪れ福州方面の狀況を聞くに大要左の如く語つた

十七米の季節風の中を乘組員一同は張り切つた元氣で平氣でやつてゐる、先づ我々は銃後に於ける擧國一致國民の絶大なる後援に對して熱い感激を以て任務に努めてゐる、福州方面の陸上の狀況は詳細でないが同方面も相當の防備をやつてゐる樣だ、閩侯が如何にしてゐるかそんな事は全く判らない、副司令になつたとかの話は外の方面で聞いたがそれとて確實な事ではない、現在海上交通遮斷も徹底的に向ふにも判つたからさうでもなからうが最初の頃は航行中漁船等に對して色々と聞いて見ると殆んど今回の支那事變などは知らない、從つて其原因や現狀等は皆目知つたものはなかつたが彼等にしてそれ程無理でもあり又

邦人所有棉花を 支那軍隊が掠奪
それを英國商社が賣買

【上海十五日發同盟】日華紡績浦東工場は事變勃發後間もなく敵の兵火に罹り工場の大部を燒失し殘りの倉庫內の棉花は全部掠奪に遭つたが、右掠奪は戰區警備司令楊虎が軍費調達のため部下をして行はしめ然もそれを英國商社の手を通じて支那紡に販賣された事判明しわが閘北方面を激昂せしめてゐる、掠奪された棉花總計二千五百俵、時價六十二万元見當で英商隆茂洋行はこれを六万元見當で買受け恒豐紡績その他の支那紡績に賣付けたものである、隆茂洋行は倉庫業、棉花、羊毛のプレス業を營む純然たる英國系商社で國際關係の微妙なる事變中に英國商社が邦人所有棉花であることを知りつつ支那側に軍費調達の便を與へた行動は極めて不可解でこれに對しわが方は何等かの手段を執るものと見られてゐる

從軍畫家即死

【上海十四日發同盟】從軍畫家岩倉具方氏は旅館に歸る途中十四日虹口方面に落下した敵彈のため即死した

敵一箇大隊を潰滅
逆襲せるを誘き寄せて

【上海十四日發同盟】第三艦隊報道部午後十時四十分發表　十四日午後六時閘北の敵は我左翼部隊佐野部隊方面に對し猛烈なる攻擊を行ふとともに同七時頃約一個大隊の敵步兵部隊は喊聲を擧げて三義里方面に逆襲せり、佐野部隊はこの敵を十分引き寄せ至近の距離に誘き寄せ銃砲火を浴せこれに徹底的打擊を與へ潰滅せしめたり、陣地前に遺棄せる敵の死體は數百で佐野部隊の損害は極めて輕微なる模樣である

蚌埠飛行場と停車場を爆破
敵機二機倉皇と逃走

【○○十五日發同盟】十四日午後二時わが海軍航空隊の○○機は林田部隊長佐官指揮の下に猛然○○基地を出發、蚌埠飛行場、停車場を襲擊多大の戰果を收めて無事歸還した、敵空中二隊に分れて一隊は飛行場一隊は驛を襲ひ格納庫、驛舍、線路を徹底的粉碎せしめ多大の損害を加へたものである、飛行場には敵戰鬪機二機が在中であつたがわが機の姿を見るや倉皇として何れかに逃避し退走した

敵機二機を地上爆擊

【上海十四日發同盟】第三艦隊報道部十四日午後九時三十分發表
一、海軍航空隊は十四日午前十時、南京大校場飛行場を空襲し敵戰鬪機十機を爆擊、南鄉大尉、白根大尉の率ゆる部隊はこの敵機を急襲し今市鎭の結果二機を擊破せり、又同部隊は十四日反復して閘北前面及び閘北敵陣地を爆擊せる外、長江、江水灣、江灣鎭、閘口、國江、蘇州、松江、嘉興の各方面鐵道線路を爆擊し、更に一部は蕪湖の爆擊を決行し、また合肥を急襲せる部隊は敵機二機を地上に爆擊せり
二、十四日午前崑山に出動せる江上艦艇は浦東ポイント上流岡墳鎭に潛入せる敵より突如射擊を受けしに依り水雷艇○○は直ちに反擊この敵を潰滅せり

末次大將は豫備役に

【東京十五日發同盟】臨時內閣參議に就任の末次海軍大將は十五日附を以て豫備役仰付られ左の如く發令された

軍事參議官海軍大將　末次信正
依願豫備役仰付

尚同大將は同日午前十一時宮中に參內　天皇陛下に拜謁仰付られ退官の御禮を言上退下した

臨時資金調整法 臺灣にも實施
施行細則と共にけふ公布さる
嶺田財務局長談

非常時經濟立法の一つとして重大視されてゐる臨時資金調整法は十五日午後府報號外を以て公布、施行細則と共に本島にも即日實施さるることとなつたが、總督府では嶺田財務局長談の形式を以て次の如く發表した（本法及び施行細則は本紙附錄の府報號外を參照のこと）

臨時資金調整法は過般內地に施行された臨時資金調整法は愈々本日を以て本島にも施行されることになつたのであるが

本法は 言ふ迄もなく今回の支那事變の非常時經濟立法の一であつて、其の立法の趣旨とする所は物資、資金の需要の增大轉化を豫想し其の需給關係の適合に資する爲國內資金の使用を調整することを目的としたものである、即ち今迄殆んど全く自由に委せられてゐた資金の放出及吸收の兩方面に統制を加へ、今回の支那事變に關聯し產業の擴張に因る國防及び國策上の見地から出發せるものである。本法は斯の如き緊要なる目的を有するものであるので、吾國經濟組織の一部[illegible]れば其の

目的を 達成することが困難であるが爲今回之を本島にも施行せられた譯なのである、今本法の大要に就いて述ぶれば、本法は金融機關（本島に於ては銀行、保險會社及び信託會社）が資金を貸出し、又は有價證券の應募、引受又は募集の取扱を爲す場合と會社が直接に又は金融機關を通して資金を吸收する場合の二方面に亙り之を取締ることと爲つて居るのであるが、勿論資金の放出吸收は全部之を取締るのでは無く或一定金額以上の

事業設備資金、社債の發行又は會社の設立或は相當長期に亙る固定すべきものに付て統制するものであつて、運轉資金は勿論であるが固定資金であつても

小額の ものは取締らないことに爲つて居る、而して本法の調整機關は本島に於ては臺灣總督であるが、調整の方法も自治的調整を全然認めないではなく自治的調整を爲す機關は何れ指定せらるる事に爲つて居る、次に資金調整上問題となるのは使用せらるる資金の性質であるが之は目下中央關係當局と內協議中であるが、大體規定を爲す標準は內地に於て既に決定せられた調整標準を主要として之に本島の特殊事情を加味した調整標準を作成し、之に依て資金の需要又は其の緩急の程度を斟案して具體的に之を決定することとなるのであるが勿論

資金の 需要に關するもの其の他事業の[illegible]なものに付ては近く發表せられるものと[illegible]臨時資金審查委員會に諮問して決定することと致し[illegible]居る次第である、而して本法[illegible]

中主要なるものは銀行其の他金融機關が十万円以上の事業設備の新設擴張改良等の爲に貸出を爲す場合、額面總額十万円以上の有價證券（主として社債）の應募、引受又は募集の取扱を爲す場合、又資本金五十万円以上の一般會社の第二回以後の株金の拂込、自己資金に依る事業の新設擴張等に十万円を超ゆる場合には一々臺灣總督の許可を要することに爲つて居る、認可事項の主なるものは五十万円以上の會社の設立、增資、合併、又は目的變更等である、終に臨み特に申し述べ度いのであるが

本法は 單に事業を消極的に調整するのみでなく現時工業其他刻下の時局に緊要なる事業に對しては積極的に資金を集注して之を保護助長するの立前を採つて居るといふ點に付て各位の注意を喚起致して置き度いと思ふ、以上本法の趣旨並に其大要を述べたのであるが本法は非常時臨時立法として極めて重要な役割を爲すものであるから本法の適用に關係を有せらるる各位に於かれては立法の趣旨に深甚なる考慮を致され[illegible]達成に努められんこと[illegible]

新竹臨時州會
皇軍慰問電を可決

【新竹電話】國民精神總動員に要する費用並に新竹市將來の發展に伴ひ停車場擴張其他各種公用施設に當てる爲めの公用地買收費の外の追加豫算を附議すべき新竹州第二回臨時州會は十五日午前十一時より州會議室に開催、議員二十五名（中二名缺席）赤堀知事の演說、議員總代清水源次郎氏の挨拶、書記任命、議員出缺報告等型の如くあつて後桑原佐一郎氏より州會議員一同新竹神社に參拜、皇軍の武運長久戰勝を祈願し、向支那事變關係軍部當局に感謝並に慰問電を發し又この際にて戰死者に對し一分間默禱をささげ度いとの緊急動議を提出、滿場異議なく一分間默禱の後祝文起草の爲め少憩、再開後電文案を議決

第一號議案　昭和十二年度新竹州歲入出豫算追加の件

を上程、森田內務部長より內容につき說明あり、發言者なく、審議に入つたが勿論質問等あらう筈もない議案とて直ちに原案通り可決、午後零時半閉會、一同打揃つて新竹神社に參拜した、因に本追加豫算內容左の如し

歲出にては勸業諸費として水害被害費一万二千五百五十円、手數獎勵費七千五百円、國民精神總動員費二万八千二百六十円、公用地買收費十二万九千五百円、歲出合計十五万六千六百六円、歲入に於ては前年度繰越金二万八千九百六円、國庫補助金（勸業費に充當）八千二百円、寄附金（公用地買收費に充當）込料張賈として竹東化學工業株式會社より寄附）十二万九千五百円、歲入合計十五万六千六百六円である

その日その日

○ 條約をバカ正直に押し通る國際聯盟もあれば、十露盤をはぢき乍ら外交をしてゐる政府もある
○ "東洋平和"のためならば、日本國民は皆死ぬ覺悟を持てゐる。重大なのは、唯この點
○ 自主義か、佛國を離れて獨逸と不戰條約を結ぶ、東京、伯林、羅馬樞軸と云ひ、歐洲大戰前とは大變な國際情勢の相違
○ "神死到"の動員を賜はる、事變最中と雖も顧進の途を開かせらる　聖慮、誠に深遠
○ 前には不退轉の日本軍、後には虎狼の督戰隊、"全くの進退兩難"殘るは死か降參かだ
○ 蒙古族とは血の繫がる日本民族だ、"大蒙古國建設"の共同工作に、言ひ知れぬ愉悅を感ずる
○ 上海のコレラは一種の細菌戰術、その內地傳播は心痛に堪へぬ、銃後の心を以て防疫に當りたい
○ 戰地での慰問品の味や慰問文の嬉しさは又格別らしい、銃後では此時兵の"笑顏"を味はひたい

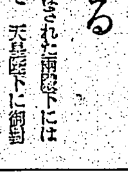
無絃琴

去る九月二十四日、蔣介石及び宋美齡が南京の官邸で米國のAPやUP通信記者など相當數の新聞通信記者と會見、日本空軍の空襲について大いに訴へたとて內地の諸新聞にも其の寫眞が揭げてあつた▲然るに去る二十四日と言へば、南京は我空軍の空襲に脅え逃げ[illegible]

が寫眞で見る樣なシアくとして官邸に據へてゐる譯が無い、殊に九月廿三日及び廿五日には前後數回に亙り南京を大爆擊して居るので、あんな呑ん氣な寫眞が出る樣では、空襲の效果も少いのか――と不審がられ、ある筋で右の怪寫眞の正體を探査したところ、何とまア彼の寫眞は"東京より東の方にある南京"から輸入されたものである事が判つた▲平たく云ふとアメリカから逆輸入されたものである。蔣介石が、要するに東京の空より空襲を斷外に恐れをなし、南京空襲を到外宣傳に利用するため事變前に撮つた寫眞を九月廿四日撮影などとして米國へ送つたものらしく、その念入りな巧妙な逆宣傳振りには何度痛み入る次第だ、何アノ怪寫眞をよく見ると、宋美齡は黑服であり、米國通信記者といふのは外套などを手に持て居り、季節との關係から見ても不審の點が明白であるやうだ。

浮標のごとき女（110）

尾崎士郎作　梁川剛一畫



失踪（十九）

「どんなことですの？」
といひながら、三重子はわれ知らず立ちあがつた。
「――あたし、今になつてへんなことをいふやうですけれど、あなたとあたしとは同種類の――」
「ええ？」（自分の胸のつよさにぴくつとした）
「あたし、そんな氣がしてならないの」
「それが――」
と、とんちんかんな返事をしながら、ぐつと心の底につかへるものが出來てきたのであらう、田村

は汗びつしよりになつた顏をぬぐはうともせずに、大きな聲で笑ひだした。
「――私にはよくわからないんですが、しかし」
と、言ひかけたとき
「――ねえ！」
と、三重子が言つた。
「――此處まで來られたのはいいな、あたし、何だか――生きてゐるといふことの意味がわかつたやうな氣がしてきたのよ」
「そんなことが――？」
と、田村が困つたやうな、場合によつてはどうでもいいやうな、妙な返事をしたのである。
「――今の僕は、自分のことなんか考へてゐませんよ」
「ちやあ――」
と、三重子がいつた。――
「どなたのことを考へてゐらつしやるの？」
「――あなたが」
多少の技巧が殘つてはゐたが、しかし、同時にそれを否定するやうな眞實がひそんでゐるやうな聲であつた。
「――あなたが何故、こんなことをおつしやるんですか？」
「僕――？」
「さうおつしやりたいの……あたし、今

夜はとても、うれしいやうな悲しいやうな、へんてこな氣もちよ」
「それは、わかつてゐますが」
「――だつて、結局は、さうぢやないの」
「それはね」
と、三重子が急に折れて出たので、田村はそのかんじを半ば受けとめ、半ばうち消したやうな態度を示して
「――輝かしくなつてくると何も言へませんよ、僕だつて男ですからね、嘘をいふ氣もちもないし、さうかといつてほんたうのことをいふとなると自分を滅ぼすよりほかはなくなつてくるし」
「自分を滅ぼす、といふのはどんなこと？」
「――盲目滅法なはなしですよ、やつぱり人間といふものは自分のことしか考へないやうに出來てゐるんですね」
「そんなことが出來て？」
「僕ですか――？」
「――」
と、いひながら、（――それは愛でもなく言葉でもなかつた）立ちあがつた。
「え？」
田村がいつたのである。
「それよりも、僕ほんとにお願ひがあるんですが」
「何？」
「――言つてもいいでせうか？」
「いいにきまつてゐますよ」
田村は、それきり默つてしまつたのである。
「早く、おつしやいよ」
夜氣は爪先からぐんぐんのぼつてくるのである。
「――僕、ほんたうはそんなこと、なんかどうだつていいんですが」
「えつ？」
要は目一杯[illegible]

危險を未然に！
食ひすぎ 飲みすぎ のあとに

惡疫誘發の因となる下痢腹痛の起らぬ內ヘルプを御服用あれば、危險を輕快に防ぐことができます。ヘルプは下痢腹痛に即効ある腸胃カタル良藥で、衰弱腸胃の快復力強く、食物の消化と榮養の吸收の促進作用著しく、食慾振起と體力增進の基本劑として愛用家の信賴極めて大です

腸胃の衰弱と疾患に

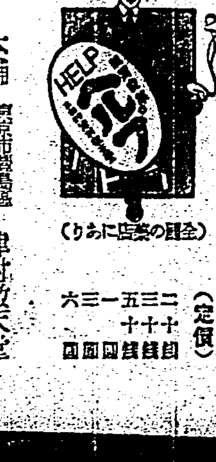
ヘルプ

宮內省前侍醫柏村博士創製

この名藥をこんな時にも
・食ひ過ぎた、飲み過ぎたと思ふ時に……
・何となく腹工合がヘンだと思ふ時に……
・大便後、肛門に不快な感じの殘る時に……
・腹がはつて食慾不振の時に……
・下痢腹痛が持續し殘留物の身につかぬ時に……

（主効）
飲過・食過・食傷
水傷・寢冷・冷腹
時候傷・消化不良等
より起る……
くだりはら・はらいた
はきくだし・はらはり
しぶりばら・はらなり
腸カタル・胃カタル

（定價）
二十錢
三十錢
五十錢
一圓
三圓
六圓


（りあに店藥の國全）

本舖　東京市京橋區銀座一丁目　津村敬天堂　振替東京八六四番

黄河一番乘りへ

破竹の勢で皇軍南下
津浦線の敵戰意喪失
濟南省城は鞠躬如！

【天津十四日發同盟】津浦線上の戰機遂に動いて皇軍の鋭鋒凄しく十三日わが沼田、長野兩部隊は破竹の勢ひを以て故城を、桑田部隊は恩縣をと山東平原北部の要衝を相踵いで席卷し更に赤柴部隊は東南に進擊して十四日土橋河を突破し斯くてわが精鋭は競つて津浦線兩側の敵を驅逐、南進しつつあり津浦線上のわが先鋒福江部隊は十三日朝平原城内に粘着き頑強に抵抗してゐた敵を一氣に殲滅擊破しつつ蕩らに猛追十四日夕刻禹城北方五里の張莊に進出し尚も猛追中である、前面の敵は龐炳勛、繆徵流及び第二十九軍の敗軍の一部に中央軍の精鋭を混へてゐるが既に德州の一戰に戰意を失ひ徒駭河の巨流を前面に禹城の縣城に據るもわが猛進を阻む能はずと見らる、最早黄河は僅か十五里餘、指呼の彼方に濁流渦巻き濟南省城は鞠躬禮を低くしてわが軍を迎へんとしてゐる、神速無比の皇軍には大黄河一番乘りが早くも全軍の課題となつてゐる

綏遠西方六十キロ察素齊、畢克齊の兩驛に多數の軍用列車の西走するを發見猛爆を敢行擊破した、察素齊以西に敵騎馬隊の西走するを見る

土橋街を占領

【德州十四日發同盟】わが赤柴部隊は十四日午後四時頃馬頰河を渡河し大なる抵抗を受けることなく土橋街（德州東南四里）を占領した

張莊を占領

【德州十四日發同盟特派員】福江部隊の一部は十四日正午頃張莊を占領した

鳥田部隊機 彰德を爆擊

【〇〇十四日發同盟特派員】鳥田部隊の〇〇機は十四日午後四時頃彰德の上空に到り停車場及び軍用列車に對し再度果敢な爆擊を敢行した

彈藥滿載車輛を一時に鹵獲 實に八十八輛

【新樂十五日發同盟】平漢線正定附近の戰鬪において獲得した戰利品中彈藥を滿載せる車輛は實に八十八輛の多きに達してゐる

蒙古軍部隊も歸化城に入城

【綏遠十四日發同盟】十四日朝綏遠歸化城の敵陣を占領したわが快速部隊は入城後息をもつかせず逃走する敵を左翼より急追しつつ西方〇〇方面に進擊を開始した、蒙古軍快速部隊もわが快速部隊に次で十四日午後六時四十分歸化城に入城した、尚騎馬隊一千名も午後七時十分蒙古旗を飜しつつ[illegible]を先頭に堂々入城した

山西省境を突破 鯉登部隊太原へ迫る

【天津十四日發同盟】平漢線戰線の最右翼に在つて石家莊攻略戰に武勲赫々湯恩伯、衛立煌南軍を擊破した鯉登部隊は井陘を占領して疾風の如く早くも河北、山西省境を突破し[illegible]太原を二十里の地點に望み將士の意氣は天を衝くものがある

激戰しつつ三晝夜 四十餘粁を猛進 神速の神田、猪木部隊

【新樂十四日發本社特電】長驅平漢沿線の要地内邱城を陷れた神田猪木兩部隊の迅速果敢な追擊こそは長く戰史を飾る金字塔であらう、十日夜と共に出發行動を開始した兩部隊は、大沙河して關城を衝いて之を攻略、更に順德等に破竹の進擊を進め内邱に入城するまで僅か三晝夜踏破せる戰線は實に四十餘粁に及び而も其間激戰に次ぐ激戰ばかりであつた、殊に内邱附近にかては敵歩兵約二千を殲滅しつつ累々たる死體を踏み越えて南進、更に柏鄉にては第二十九軍の殘兵一箇師九十一師の歩兵一箇團と遭遇、猛攻三時間にして之を擊破をして約五百の死體を遺棄潰走するの已むなきに至らしめ殲滅更に之を陷落せしめ十四日午前九時燦々たる陽光を背に受けつつ軍旗を先頭に内邱に入城したのである

北支空軍の活躍
燦然、威力を發揮
四線を徹底的に爆擊

【〇〇にて十四日發同盟特派員】北支全線に亘るわが空軍の果敢なる行動は日を趁うて益々其の威力を發揮して敵の後方に於ける退路を遮斷又は其の中樞を撹亂し敵に多大の恐怖を與へつつあるが、十四日に於けるわが空軍の行動は津浦、平漢、山西及び正太鐵道の四線に及び敵戰線の後方撹亂に其の效力を十二分に發揮しつつある

津浦線 においては十四日午後一、二回に亘り平原禹城間の敵軍用列車を爆擊しわが地上部隊の進擊を有利に導き又

平漢線 においては昨十三日の順德南和の空襲に引續き部隊、磁州及び彰德の市中央部及び停車場軍用列車を爆擊し磁州附近に頑強なる敵を方面猪木、神田兩部隊と協力し今や河北省より敵を全部省外へ驅逐せんとする情勢にある、又

山西及び正太鐵路 においては黎城、原平、大營部隊の南下及び鯉登部隊の西進と相俟ち楡次、太原、忻口鎭等の交通、軍事機關を徹底的に爆擊し北支空軍の燦然たる威力を發揮

太原を空爆

【原平鎭十四日發同盟特派員】我が地上部隊に協力して敵地攻擊に寧日なき活躍を續けてゐる我が空の荒鷲部隊〇〇機は鎌田部隊長指揮の下に十四日午前十時〇〇根據地を出發太原を襲ひ完膚なきまでに爆擊を敢行、午後二時無事根據地に引揚げた

逃走する軍用列車 多數を殲滅
陸の荒鷲部隊機

【綏遠十四日發同盟特派員】我が陸の荒鷲部隊〇〇機は十四日午後一時綏遠、歸化城より軍用列車にて包頭方面に逃走する敵を急追中

上海戰線

一、雨中に活躍する我陸戰隊（閘北戰線）
二、雨降りの惡路を前線へ向ふ〇〇部隊（楊行鎭附近）

敵の高射砲彈 不思議に當らぬ
◇…森先任將校談

【〇〇十二日發】十二日夜荒天を冒して〇〇方面から〇〇に入港の驅逐艦〇〇を訪ねると森先任將校は艦長に代つて語る

随分シケてゐるやうだが先づこちらの季節風としては中位の所だらうと平氣でやつて來た、皆ハリきつてゐるのだから平氣だヨ、敵の方が默つて來れば御相手もしようと皆緊張して待ち焦れてゐるのだが、一向に乃向はないのでノレンに腕押しといつた調子で頼りがなかつたが、航空隊では思ひ切り活躍した、廣東方面では近頃サッパリ飛行機も飛んで來ないが四、五日前韶關には未だ飛行機がゐるといふので此處の空襲をやつたが優秀機にも我が飛機に對して敵機五機が飛び出して來て壯烈な空中戰が行はれた、我が方の四機は各一機づつを確實に擊ち落して悠々還つて來たヨ、陸上方面の軍備は詳かでないが我が方の飛行機が飛んで行くと敵は盛んに高射砲の亂射を浴せかけるが不思議に當らない、異變機はその

名譽の戰傷者
◇……基隆關係者

【基隆電話】佐藤部隊に屬し名譽の戰傷を負うた基隆關係者は左の七氏である

中井任伍長は [illegible]

丹野喜政上等兵 は基隆水上署所屬モーターボートつるぎ號ノ乘組員で[illegible]

富田實俊上等兵 は[illegible]

榊一雄一等兵 は[illegible]

藥師寺保上等兵 は[illegible]

楠本秀明上等兵 は[illegible]

畠中五次郎上等兵 は[illegible]

兒童も精神動員
十七日臺灣神社參拜

國民精神總動員は幼い兒童達にも…台北市教育課では十七日の神嘗祭に市内廿二校の小公學校から五百名の代表兒童を選拔し午前十時半頃より明治橋に集合の上各校旗を押立て台灣神社に參拜國家非常時の折一層緊張して小國民としての本分を完うする赤心をこめて祈願した後數班に分れ市内各地區の戰歿者の家庭を慰問して廻る事となつたが當日は國民精神總動員強調週間六日目『殉國の士を讃える日』に當り兒童訓育上意義深き企てであると見られてゐる

番社に神棚を寄贈

台北市末廣町四ノ一指物商李子三郎氏は州下高砂族が獻金に軍夫志願に或は出征兵送り等によく銃後の熱誠を示してゐるのに感激し神棚五十箇を自家で謹製十四日州理蕃課に持參州下各蕃社に配付方を申出たので同課ではその厚志を痛く喜び近く配付の手續をとる事になつた

綠水會の祈願祭

台北商[illegible]綠水會では十六日(土)午後二時から台灣神社で皇軍武運長久祈願祭を執行する由、會員は奮つて參會されたいとのことである尚集合場所は明治橋派出所前である

二階に梯子をかけ 窓から忍び込む
大膽な泥棒捕はる

【基隆電話】十五日午前二時基隆市元町三ノ一八劉天錫方二階に梯子をかけ窓より忍び込み就寢中の妻劉呉氏娥(三一)の純金腕環一箇價格三百円を強奪逃亡した犯人あり大膽にもその足で又も隣家に忍び入つた所を發見され驅け出により驅け付けた基隆署森、黄兩刑事がベットの下にもぐり込んだ犯人を引つ張り出し拘留の後逮捕した、右は堀川町六七無職鄭阿發(二七)と言ひ昨年竊盜の罪により刑の執行猶豫中の身であつたが豫て同種竊盜を働いてゐた形跡あり近頃珍らしい捕物であつた

吏員養成所の精神週間行事

【新竹電話】新竹州立市街庄吏員養成所は去る一日開所以來所生二十名は各講師の熱心なる指導の下に元氣潑剌たる意氣を以て規律統制ある生活を營んでゐるが國民精神總動員強調週間に於る同所の實施事項左の如し

十二日戊申詔書奉讀式舉行△十四日士氣の振作△十五日勤勞奉仕△十六日赤堀知事講演△十七日新竹神社參拜△十八日強調週間に關する感想文作製

牛埔保甲民から慰問金

【新竹電話】新竹郡香山庄牛埔保甲聯合會の保甲民一同は出征軍人遺家族慰問金として金四百二十七円三十一錢を十五日本社新竹支局に寄託したので直ちにその手續きをとつた

臺北一高女の體育演習會

臺北一高女では十八日(月)午前九時半から午後一時半迄に國民精神總動員強調週間第七日にあたる「非常時心身鍛錬の日」の催として第十二回體育演習會を開催する、運動種目は二十二の内學年對抗競技十六種目並に全學年にて行はれる國民保健體操、合同遊戲、女子青年體操は當日の呼物である、なほ本年は前述の意味合ひから一般公開をなさず校員並に職員に行ふとのことであるが父兄母姉保證人各位並に同窓生諸子の多數參觀を希望する由

山東丸より

(來航)[illegible]十六日未明、基隆着外(十五日[illegible])

會　事

[illegible]クラブ月例會 十八日[illegible]

放浪のユダヤ人 皇軍へ慰問金
一千圓を三宮署へ

【神戸十五日發本社支局特電】神戸にゐるユダヤ人約八十名は相互扶助の機關としてユダヤ人協會を組織し祖國なく放浪の不遇を慰めあつてゐるが皇軍の輝ける戰果を讃へ金一千円を慰問金として三宮署へ提出した、同協會としては稀有のことである

ドレー氏が決鬪
航空記者トーレス氏と

【パリ十四日發同盟】今春訪日記錄飛行完成の一歩手前に於いて惜しくも四國に不時着した佛蘭西の名飛行家マルセル・ドレー氏がアントランシジヤン紙の航空記者パイロネ・ド・トーレス氏と近く決鬪する事となりセンセーションを起してゐる、兩氏の間の確執は去る七月二十七日ソ聯大使館のレセプションの席上ドレー氏がド・トーレス氏に對し侮辱するが如き言葉を吐いたのに始まつたが十三日シヤンゼリゼー街の某カフエーに於いてドレー氏が公衆の面前にて再びド・トーレス氏を痛罵した爲め憤慨したド・トーレス氏は二人の介添人を通じてドレー氏に決鬪狀を突きつけたものである、之に對しドレー氏も介添人二人を選び鬪戰、武器を待つて黑白を爭ふと[illegible]いてゐる

"麻雀は亡國的"
京阪神青年團協議會 驅逐方を決議上申

【神戸十五日發本社支局特電】第十回京阪神三都市青年團協議會は十四日京都市公會堂で開催種々時局問題に就き協議したが就中麻雀は亡國的遊戲なりとして之が驅逐方を満場一致決議各府縣知事に上申することになり注目されてゐる

あすの天氣

臺北地方　北東の疾風曇時々雨
北部　北東の疾風曇時々雨
東部　北の疾風曇後小雨
西部　北の疾風晴時々曇
南部　北の疾風晴時々曇

今晩の映畫

◆國際館　晝十二時三十分上映
1 榮光の道　2 我等の仲間　3 臺日ニュース・支那事變ニュース

◆芳乃館　晝十二時四〇分上映
1 大毎臺日支那事變ニュース　2 破れ合羽　3 噫撰ばる家　4 [illegible]

◆大世界館　晝十二時半上映
1 黒船　2 忠臣情話　3 臺日・パ社ニュース・タイムニュース

◆新世界館　晝十二時半上映
1 パ社ニュース52報　2 珍說放送の夕　3 かつぼれ人生・江戸ッ子健ちゃん　4 若旦那三國一

◆タイゲキ　晝十二時半分上映
1 夕立勘五郎(後篇)　2 比翼三度笠　3 夕陽特急・臺日支那事變ニュース　4 仰げば尊し

第一タクシー

高級自動車二十二臺
城内方面ハ電三〇八三　御成町・大正町方面ハ電四四九〇　東門町・幸町方面ハ電二七〇一
(晝夜無休・親切・迅速・安全)

荊妻ヨネ儀豫而病氣療養中ノ處十四日午前七時自宅ニ於テ死去致候間此段謹告仕候也
追而葬儀ハ十六日午後二時自宅出棺公會堂ニ於テ佛式ヲ以テ相營可申候
昭和十二年十月十五日　海山郡土城庄
夫　西村市松
男　坂田正三
親戚　山田寛一
親戚　林西田恒治
親戚　山本秀太郎
友人　原野義信
友人　菊千之充
友人　池清作
總代　簡鴻黎

父惣一儀病氣加養中ノ處養生不相叶本日午前三時死去候間生前辱知諸彥ニ謹告候也
追而葬儀ハ十六日午後二時自宅ニ於テ相營候
昭和十二年十月十四日　基隆市[illegible]
男　德丸一房
親族　一同
友人　一同

皇軍躍進 日本陸軍　時局最新發行　民衆本内　タイヘイレコード

VEGELINE
毛髪養料 ベジリン香水
斯界に多大の信用と愛用者を有する
改正定價 大壜¥1.05 小壜¥1.00 特大壜¥3.85
フケ、及びカユミを去り脱毛を防ぎ常に美髪を保全し用後床に爽快無比也
各百貨店、化粧品店、薬店にあり
本舖 リーガル商會

書籍　支那大地圖　新高堂書店
內地土產　テントは矢野へ　臺北市
寫眞　オリエンタル　臺北市
カメラと材料　フタバ寫眞機部　臺北市
時計眼鏡　和田はメガネ專門　臺北市
メガネ專門 金光堂
料理屋　大衆向き宴會大勉強　生そば辨金京町店
金融　電話商品三成社
洋服　合、冬服地新柄
藥種商　喘息にワンカ
雜件　文化卓子椅子
純無煙炭と各種燃料

臺日案內
生徒募集　公認 東洋自動車講習所
晝間十一月十六日 夜間毎月十日開始 活動寫眞應用設備內容全島一
臺北市蓬萊町參貳壹番地
所長 島津恭太
子供服　村井
村井
白色、柄、衿付シャツ　村井
白蟻驅除は大脇　臺北市本町
實戰用新軍刀あり　臺北市大和町

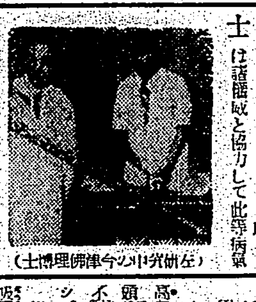
全國民必聽の大獅子吼！
演說 時局ニ處スル國民ノ覺悟 近衛文麿
文部省製作
昭和十二年九月十一日 於日比谷公會堂
政府主催國民精神總動員大演說會に於ける演說より錄音作製
その一節（前略）われわれが今日これを解決せざれば、われわれの子孫が更に大なる困難の下にいづれの日か解決を必要とするものであります。果して然らばこの日本國民の歷史的大事業を（後略）
カートン・ボックス入 兩面原稿々本呈上 三枚一組 賣價三・三〇
コロムビアレコード

頭を新しくして新しい胃藥を
胸やけ・ゲップ・胃痛に
ノルモザン錠
制酸と鎮痛 胃酸過多の治療

矢野　カルグロ・テンド　矢野テント商會

ぜん息・神經痛や中風・高血壓
血の「濁り」をとり原因から治療せば治る
不治でない
鰤(?)取料で有名な今津佛理博士は諸權威と協力して此等病氣の原因を徹底的に研究した結果
酒煙草 花柳病或は內臟の故障等で身體を蝕ふ大切な血液が濁り易くなつて循環が不順になり、神經が侵される爲め起るので血液の混濁を除去して循環を良くし、動脈硬化の原因を除いて血壓を調節し、循環を良くして神經の障害を除けば治る、決して不治でない事を多數の實驗に依り確め貴重な補助ホルモンから強力な淨化素を創製しその服用と
（左は研究中の今津佛理博士）
中風で不隨者もつれに惱む人
高血壓、動脈硬化で肩こり耳鳴り頭痛目まひ、動悸ふらく、便秘
不眠神經衰弱、足重ハレ、ふるひシビレなど腦溢血の危險ある人
ぜん息でせき、たん息切れ呼吸困難、ヒーく等で苦しむ人
神經痛やリウマチで手足腰背中や關節が痛んで困れる人は一日も早く大阪市阪急[illegible]今津化學研究所へ遠慮なく行くか、遠方はつらい症狀を詳しく記し、急ぎ申込むがよい！血液を淨化して原因から治療する新療法を叮嚀親切に敎へらる

銃後の聖戰に放つキング愛國盤の十字砲火！
あゝ我が戰友
軍國子守唄
唄 近衛八郎　唄 塩まさる
キングレコード


（左は研究中の今津佛理博士）

家庭と婦人

軍國調婦人服　時局を反映して軍國調を加味し冬物ながら單純輕快なスポーツアンサンブルです。ドレスは厚い毛織地を用ひ流行のハイネックにベルトなしといふスタイル、帽子はピンクがかつた赤、ドレスは鮮紅色、これに黄色のコートが取合せられます　義勇

豫防注射の效果はシック反應檢査で判る
季節に因る傳染病の豫防（三）

臺北市衛生課長 醫學博士　杉江四郎

序にシック反應檢査法の概略を申し上げてみよう。之はヂフテリア毒素を極めて薄く稀釋したものを試驗液とし、その一滴を極く細い注射針で上膊内側の皮膚内に注射するのである。此際痛みは全然ない。夫れから五、六日後に其の局部を調べて見ると、自然免疫性のある者は、自己の體内に抗毒素を持つて居るから、皮膚内に注射された毒素は之に由つて中和されるため、其處に些かの變化も現はれないのである。之は陰性と云つて確實にヂフテリアに傳染の虞れがない人である。

然るに免疫性を有たない者は、注射局部の皮膚が五錢白銅貨大、或は夫れ以上にも赤くなつて居る。之は陽性と稱へヂフテリアに感染する虞れのあることを證明するものである。故に斯かる陽性反應を現はす子供には、必ず豫防注射を施して、未然に感染を防がなければならぬ。

×

而して此の豫防注射の特效とする所は、チフスや其他の豫防注射は、注射後果して其の人が免疫性を得たかどうか、夫れを知る方法がないのであるが、獨りヂフテリアの豫防注射のみは、シック反應檢査に依つて其の效果の有無を確實に知ることが出來るのである。此豫防注射の結果成立した免疫は最終の豫防注射日より起算して三ケ月を經過すると免疫の最高度に達するものであるから、此の時再びシック反應檢査を行つて見れば免疫の完成した者には、全く變化が現れないが、未だ免疫が出來ないか、或は免疫發生の不充分な者は、局部の皮膚が赤くなり、尚陽性であることを示すものであるから、斯かる小兒には獨一回だけ豫防注射を行ふと、確實に免疫さすことが出來るのである。

從來の實驗上、注射完了後三ケ月を經過しても免疫の出來ない者が、百人中五人乃至六人あるのである。故に注射後のシック反應檢査は極めて緊要のことであつて、只注射をしただけでは果して免疫性を得たか、どうか明でなく、決して安心することが出來ないのである。

×

豫防注射は一定の間隔を置いて三回注射するのであるが、之に依て發生した免疫の效力が五ケ年間繼續することは、實驗上確證されて居る所である。併し先きにお話した如く、小兒が生長する間には自然免疫を受けるから、一度豫防注射で確實に免疫した者は、恐らく一生涯ヂフテリアの感染を防ぎ得るものであると云ふも、敢て過言でないと信ずる。

本島に於ては嘗てヂフテリアの發生が頗る少かつた時代もあつたのである、從つて之が豫防に就ては餘り考慮が拂はれてゐなかつたのである、然し夫れは發生が少かつたのでなく、患者の發見される場合が尠かつたのではないかと思ふのである、今之を台北市の例に就て見るに、ヂフテリアは毎年腸チフスに次で多數發生して居り、又年によつては腸チフスと相伯仲してゐるやうな事もあるのである而して台北市では一ケ年を通じて十月と十一月に一番多く患者が發生し、死亡者も亦尠くないのである。斯様に此の病氣に傳染し或は不幸な轉機を取るものの中には、親の不注意から適當なる治療の時機を失した結果に因る場合もあらうが、又彼の悪性ヂフテリアに至つては、菌の毒力が頗る猛烈なるがために、已に發病當時より重態に陥り、如何にヂフテリア治療血清の威力を以てしても、遂に之を救ふ術のない場合もあるのである

故に愛兒を持たるる世の父兄保護者達は、本病の流行時期に先き立ち、愛兒に豫防注射を受けさせ平素より確實なる免疫性を獲得させて置くことが最も肝要であり、又當然の責務であらうと思ふ。

×

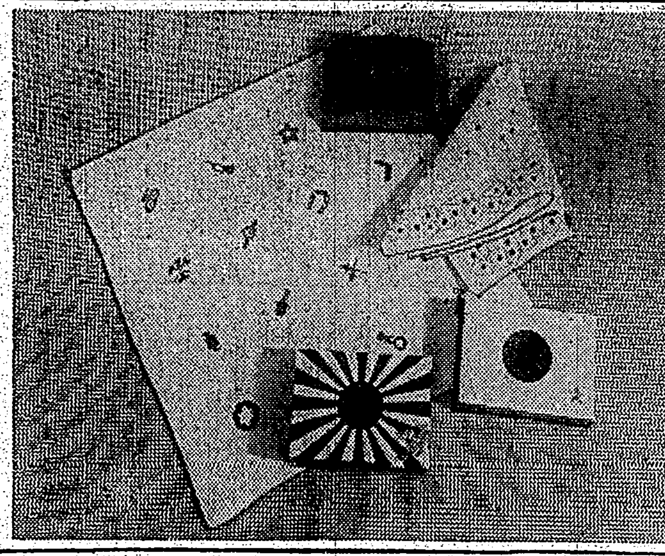
又全島各地の市街庄に於ても、十五歳未滿の兒童には汎くシック反應檢査を行ひ、陽性の者には悉く豫防注射を施行することとし、尚將來は今日の種痘法の如く生後滿一年に達したる幼兒は必ず豫防注射を受けさすことにすれば軈て本島よりヂフテリアを驅逐する日の、決して遠きにあらざることを信じて疑はざるものである。

因に、豫防注射は何れの醫院又は醫師の所でも受けることが出來ると思ふが、シック反應檢査は試驗液の保存の關係上何處でも出來るとは明言し難い。臺北市衛生課では毎年四月より七月頃まで、反應檢査と豫防注射を實施し、十一月にシック反應再檢査を行ふから、御希望の方は衛生課へお問合せ下さい。

秋草をおもふ（9）

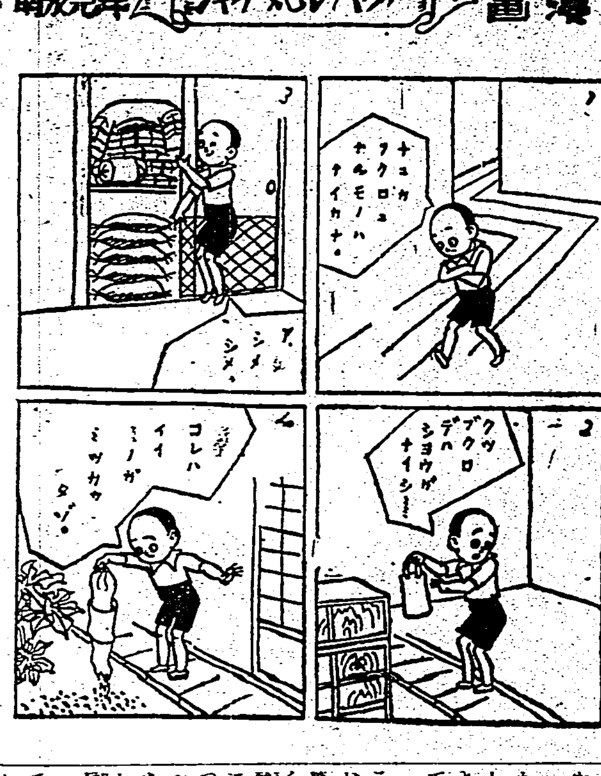
ふた葉なるわが撫子も哀れなり既その秋にあはんとすらん
——古歌——

撫子は海辺や山地の岩角の濕地に自生する河原なでしこ、この種類の可憐な姿は山路の九十九折の慰安者として、その美しさと純な容姿は乙女にも近いものとして多くの人の觀賞するところのものです、通稱カハラナデシコ、瀛名瞿麥撫子或ひは別名常夏は日本で出來た文字であります、秋草の中で一番可憐な花で、全容も葉もすべてホツソリとして線淡く、花色淡紅、花弁は細かく裂れてゐるがためにことに趣き深い姿を見せてゐます、そのためか昔から淡く捨て難き香を藏する辺は如何にも濃化粧の手弱女を聯想させるものがあると謂はれ、繪題として頗る好まれるところです



ハンカチーフ　海軍を表徴したハンカチーフ入れとハンカチーフです、ハンカチーフ入れは一圓五十錢、ハンカチーフは木綿製で二十錢、時節柄の好贈物でせう

漫畫　アッパレさんチャン（12）



ヒヨロ長の増加
人類は砂糖をなめすぎる　甘黨はカルシウムを忘れるな

まあ、ずゐ分ずらりとしていらつしやること、なんてスマートなんでせう——てな讃辭を若し誰かから頂戴したとしても、うつかり有頂天になるものではありませんよ。それは、あなたの身體は健康上からみれば落第ですよといふことを意味すると考へて先づ大過ありますまい。

實際、縱横釣合つた身體といふものは生理的に甚だ重大であつてその點、いはゆるすつきりした身體、はつきりいへば背丈けだけひよろ長くて痩せた身體は何の價値もないものです。

ところが、また、どうしたことか都會地では、そして殊に若い婦人たちのあひだに、近來、此の「ひよろ長い人」が非常な勢で増加して來てゐます。

さて、學者に此の原因をたづねると、答へは左の通り——人類は砂糖をなめすぎるのである、砂糖は人體にある分量だけあればよく、それ以上攝ると身體の性質を酸性にし、それを中性に保つためには身體はアルカリ性の要素を注つて對抗する、ために體内のカルシウムは段々と減じ、骨や歯の强さ、固さが減じ骨は柔かいのでずんずん伸び、歯はいくら磨いても齲歯となるのである——と。

とはいへ、砂糖を禁らしたいなんてそんな非文化的のことは今日のお孃さん方には出來さうにもありません。然らば、この對策はどうしたものでせう、つまりは縱に伸びるだけ横にも擴がればいいわけだといふので、世界各國でスポーツを奨勵してみるといふのもこの對策のひとつ、スポーツはグリコーゲンを消費する上で骨格をつよくし筋肉を發達させますから丈も高く横も廣い女性が生れることうけあひです、中でも肩をつかふ籠球、ブランコ、水泳などはこの目的には最もふさはしい運動です

最後に、甘黨の諸嬢に忠告しておきませう、砂糖はお好きなだけなめてよろし、その代り、カルシウム分もうんと澤山攝ることを忘れてお居れにならぬやう。

主婦ノート
鹽辛の上手な作り方

赤づくりは、烏賊の足や皮や、エンガハなどの肝を鹽と麹で漬けるもので、麹は混ぜても混ぜなくてもよいのですが、大體烏賊の肉一升について、鹽と麹を等分に三合の割合にまぜて、一ケ月位密閉貯藏しておいてから食べます。

鰹の鹽辛は、ごく新鮮な鰹の腸だけを取出して、俎の上で細く庖丁で叩き、一升の腸に對して、三合から五合の鹽を混ぜ合せ、樽に入れて蓋を密閉し、二ケ月以上經つてから取出して食べます。

淋病の最新療法
殊に慢性の永びく人によい
逆療法發見さる
三日に二回の服藥でよい

本療法の發明者柴崎先生は二十年前より終始一貫して花柳病專門藥に就て研究し其間色々な良藥を發見され、最後にゴノモト逆療法を發明された、此藥は無味の黑色粉藥であつて酒で服用する全く類のない變つた藥である、然も三日間に二回の服用方法であつて發熱發汗し深部の慢性淋菌を殺菌排毒するのである、詳細の事は度々雜誌や新聞紙上に發表してゐる、兎に角變つた良藥として斯界の評判を集めてゐる、故に慢性又は再發に苦しむ病者は速に本療法を實行せらるゝやう切に御勸めする。（寫眞は柴崎先生）

近く性病患者を取締る規則が出來る

新聞紙上で御承知の如く近く官廳で花柳病患者を取締る規則が出來るさうである、これは花柳病の撲滅を期する目的であつて例へば性病を持つ船員等の上陸を禁じ、病者を發見すれば强制的に治療せしめ、又は結婚を禁じ、公娼は勿論、夫婦間と雖も性病者には拒否する權利を與へる等八ケ間敷き規則が出來る、いよいよ發令の結果は定めし色々な悲喜劇が隨所に現出するであらう、然しかゝる法規の有無に拘らず各自が己れの爲、一家、一國の爲め進んで徹底的に病魔を征服すべきである、茲に病者の奮起を促す。

困りぬいた揚句　服用し今では

豐前國　岩本康信

（前文略す）貴店に對し心から感謝と御禮を申上度存します、さうして貴藥を非常によい淋病藥と確信する事が出來ました、四年間の慢性淋病が貴藥の服用によつて非常によくなることが出來ました、市内一流の專門醫二ケ所で尿道の檢査を二回して戴きました、それから丸一年になりますが昔のいやな氣持がよくなり再生の思ひで毎日を送つて居ります、小生は酒によつて殺されそして酒でのむ藥で救はれたやうなものです、酒の上で遊里に入り發病し、當時は病院へ入る金はなし色々やりました、さうしてやけになり不養生をしたので實にヒドク痛み困りぬいた揚句ゴノモトをのんだのです、初めは酒でのむなんてインチキであらうと失禮ですが思つて居ました處、服用二種目からずつとよくなり次第に氣持よくなりましたどうぞ世の不幸に悩む人達を一人でも多く救つて下さい。云々……

ひどい消渇（女の淋毒）で困つて居りましたが

朝鮮群山　若木〇子

さて此度私の内の者がひどい消渇で困つて居りますので貴店のゴノモト慢性用十五回分服用させました處さしものひどい消渇も大變よくなりましたので家中のよろこび一方では御座いません、これと云ふのも皆ゴノモトの御蔭と厚く御禮申上ます、次に私の知人男の人淋病にて二ケ月あまり入院致し、今はすてばちな氣持になつて居ります、就きましては私からゴノモトをすゝめました處ぜひのみ度いとの事ですからいつもの慢性用十圓の分を至急代金引替で御送り下さい、例の通り人にわからぬやう御送願ひます。

服用者から禮狀が澤山參ります何れも匿名で發表して居ります

夫婦協力

治つたつもりで知らぬ間に妻君に傳染し下り物があり、膀胱が惡い足腰引つり痛み遂には不姙症となり夫婦生活が出來なくなり家庭を破壞する、故に思ひ當る方は夫婦協力して徹底的に治療せよ。

酒でのむ藥　こんなん　**ゴノモト**

醫者へ行く前に……
[illegible]
發病七日以後は深部へ侵入するから慢性の手當が必要です
ぶら\/と出ぬ小便の時痛む人
膿は出ぬが尿道に糸のくずの出る人
小便近く後部がくす\/する人
睾丸の筋が引つる人
便門がチク\/と痛む人
小便の色が濁り又は血の出る人
酒を飲むと再發する人
時候の變り目に再發する人
遊びの激しい人
三年五年と經過して治らぬ人

◆藥價は慢性用大瓶一瓶十五回分金十圓、半瓶金六圓、急性用一瓶金三圓の三種
[illegible]

東京市神田區 柴崎製藥所
[illegible]

各地特約店

ゴノモトの藥價は慢性用大瓶一瓶十五回分金十円、半瓶金六円、急性用一瓶金三円の三種、送料各十錢十四十錢、發賣元東京下谷區御徒町二丁目青東交叉点住友銀行筋通柴崎製藥所（電話下谷八三二一・七番）（振替東京二一八五八番）へ為替か振替で送金すれば信人名で密送す、代金引替は切手二十錢前送の事

酒でのむ「ゴノモト」特約店
臺北市榮町三丁目 吉田廣生堂
臺中市錦町 丸三藥房本店
臺南市本町 角谷愛國堂

無料相談　詳しき事、不明な事其他何事でも遠慮なく發賣元へ御相談下さい、（返信は三錢切手封入申込の事、信人名にて回答す）

護れ・皇軍將士の食慾！

働くには先づ食物、食慾は實に力です！不自由勝ちな戰場に於ける吾等の勇士にぜひ、味の素を贈りませう

慰問袋に味の素

宮内省御用達　味の素本舗　株式會社　鈴木商店

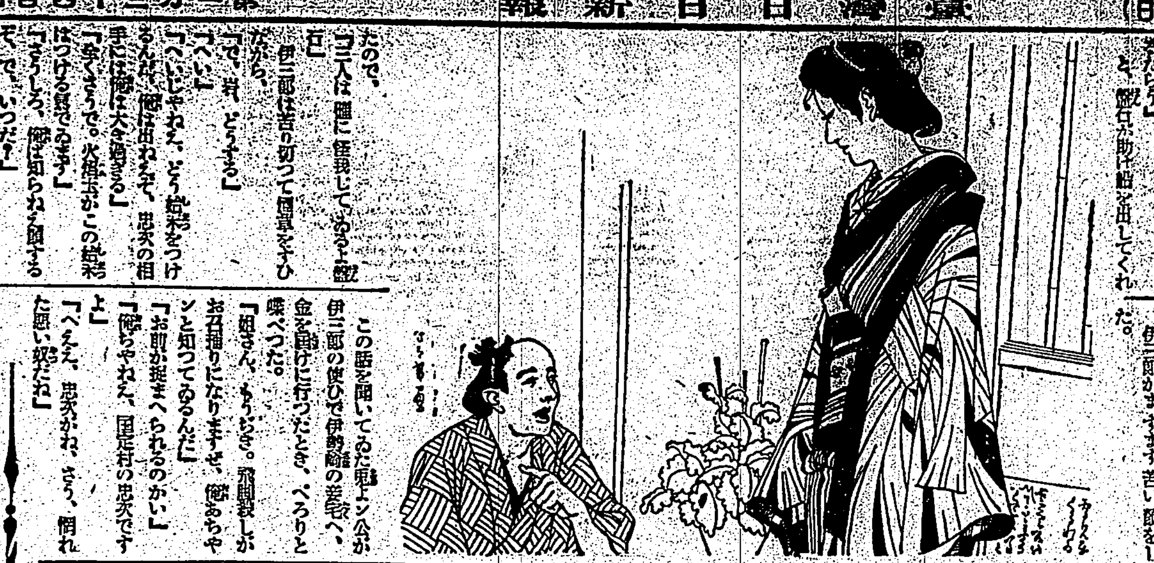
新刊 家庭料理（小冊子）御注文は郵券八錢封入御申込下さい　東京市京橋區寶町一　株式會社味の素本舖 鈴木商店出版部

國定忠次 (80)

長谷川伸作
岩田専太郎畫

大雨の前 (五)

磯右が話の棍をとつてやる氣で
「兄い、どうして又忠次と喧嘩になつた。伊勢崎でか」
「恥しくて済みません、實は親分、伊勢崎の遊び茶屋で隣の座敷に忠次がゐて、親分風を吹かせてやがるので、睨みつたのがはじまりで口喧嘩になりましたが、その詰りに待伏をされて、面目ねえが殴られました」
「忠次の方は幾人くらゐ居た」
と、磯右が訊くので火猪玉は、
「殴り出てたが不意だつたんで幾人だか判らねえんだ磯右」
「兄い、お前の方も連れがあつたさうだな。ヤマ猷、ピン一、石屋の峯、藤三の助と五人連れの筈だつたさうだな」
さては屢月を伊三郎に知られたかと、火猪玉は眼の球を動かした。
「兄い。それぢや親分にも話がありさうだらう」
と、磯右が助け船を出してくれた。
「何い」
伊三郎がきらりと光つた眼を向けた。
「親分、そりやかういふ訳なんです。七兵衛さんがいふには、忠次つて奴は飛脚殺しだ」
「えッ」
意外な話だつたので、伊三郎が喫驚した。
「飛脚と馬子を殺して、千兩箱だの煙はあいつに違えねえが、金を何処へ埋めたのか、近ごろの身持を調べたが小粒一枚持つてゐたのを見た者さへない、と、云つて、あいつに違えねえんだから、いろく手を廻して調べてゐるのだから、お前達が喧嘩を仕掛けたら折角の探索が水の泡だ、と、かういふお話なんですから、一時、ヤマ猷なんかとも相談して、様子をみることにして居ます」
「ふうむ」
伊三郎がますます 苦い 顔をした。



たので、
「二人は膃に怪我してゐると猷臣」
伊三郎は苦り切つて煙草をすひながら、
「で、お前、どうする」
「へい」
「へいぢやねえ、どう結末をつけるんだ。俺は出ねえぞ、忠次の相手には俺は大き過ぎる」
「全くさうで。火猪玉がこの結末はつける氣でゐるです」
「さうしろ。俺は知らねえ顔するぞ。で、いつだ？」
「やる心算で、猷と三と峯と助とこの四人で相談してゐると、親分、飛んでもねえ人が飛込んできました」
急に火猪玉が はつきりしてきた。
「だれが飛込んだと」
「江戸御勘定奉行の木村喜一郎様の御用で、來てゐる七兵衛親分です」
「十手目かか」
ちらりと伊三郎の頭のなかを、忠次郎は盗ッ人と人の噂、それが閃いた。
磯右が乗出して、
「兄、で、どうしたんだ」
「栗の木七兵衛さんが仰有つたには、國定村の忠次に仕掛けるとか聞いたが、いけねえ」

この話を聞いてゐた鬼よん公が伊三郎の使ひで伊勢崎の善宅へ、金を届けに行つたとき、ぺろりと喋べつた。
「姐さん、ちらちき。飛脚殺しがお召捕りになりますぜ、俺あちやンと知つてゐるんだ」
「お前が捉まへられるのかい」
「俺らやねえ、國定村の忠次ですよ」
「へえ、忠次がね、さう、惱れた惡い奴だね」

恋の下に、博奕の賭手をすげかへてゐた八寸村出の男が、ふとこの話を耳にした、
「賭手のすげ換へ・賭手屋稼業」と、解れて歩いてゐるうちに八寸の伊八を見掛けて、
「伊八さん、おい おい 伊八さん」
「何でえ、ほら庄さんか。どうだ、儲かるか」
「儲からないから往生だ、こんな事なら村で日傭取りをしてゐた方が増しだつたよ。それはさうと伊八さん、お前この頃は道楽者にな」
「うむ、まあな」
「親分といふのは忠次といつて、国定の人だらう」
「さうなんだよ」
「早く帰を返しな。あの人はいけないよ。何とだいそれた飛脚殺しの千兩箱ッ人だとさあ」
つたさうだか本當だらうな」

カナ文字ニュース

△ワガ軍ハ 敵ヲ キフツキシテ 十四日午前八時 綏遠城ヲ クワンゼン ニ センリヤウシテ 城頭ニ 日章旗ヲ カカゲ マシタ
△ワガ ○○部隊ノ 兵隊サンハ 戰地デ タイヘンナ ハタラキヲ シテ キマスガ 臺灣カラ 慰問袋ヤ 子供ノ マゴコロ コメタ ゲキレイ文 ガ ツクト 大喜ビダ サウデス コトニ ゲキレイ文ニハ カンゲキ シテ モツテガラヲ タテナクテハ ナラヌト ゲン氣ヲ ツケル サウ デス

初歩から複雑へ 映畫演技の研究 (三)

赤松孝彦

赤ん坊を抱く時だつて、俺へ人形を抱いても實際の赤ん坊を抱いてゐるやうに見せることに努力せなければいけない。女優の中には未だほんとの赤ん坊を抱かないと實感を出せきらない者もあるが、それでは女優にして女優に非ずでまことに困る。

×

では次の演技に移る。複雑なる氣持、即ち「心理的内面描寫」である。

複雑なる演技

(A) 場面＝寝室

「主人は妻の病氣で看護婦を頼む。主人は病床に附添つて妻の看護をする。
そこへ看護婦が始めて這入つて來る。看護婦は挨拶をしやうとして主人と顔を見合はせ、はつと驚く。
主人も事の意外に驚く。
二人は以前密かに戀し合つた戀人同士であつたのである。
二人は病妻の手前、驚きを隠して平然とする。
病妻は二人の様子を、ちらりと見て一層苦悶が増して來る。
主人は戀人が看護婦に身を落した經路を考へて暗然とする。
やがて看護婦は病人の看護に取りかかる」

これなどは平静の動作の裡に、かなり激しい感情が盛られてゐるが、第三者の手前どうも表現出來ず内面的に押へた態で終ることになつてゐる。

(B) 場面＝往來

「病みほうけたよぼくの盲目の老爺が喘ぎ出て來て苦しさうにその場へ倒れてしまふ。
そこへ通り掛りの身なりの美しい夫人が出て來て老爺の様子を見、氣の毒さうに近寄つて、介抱しようとして顔を見ると、それは數年前、田舎に飛出して來た儘、行方不明になつてゐた父親である。娘と父の不思議な再會。
盲目の父の喜びと悲しさと娘の嬉しさと悲しさとかうした氣持が急速に廻回して二人は涙に暮れ抱き合つてしまふ」

この時に於ける盲目の役樣は兎角新派悲劇的になり勝なるものであるが、さういふ臭味を出さずに自然的に演るべきである。夫人になる役も、少しの誇張もなく正直に演らないと如何にも嘘らしく見えてお可笑しい。

×

最後に戀愛場面の研究に移るとして先づ教材を紹介しよう。

『金と戀と』(場面＝洋室)

「青年紳士と若くして寡しき未亡人とがソファに腰かけて話してゐる。やゝあつて男は『恐れ入りますがサインを……』と云ふ。
青年は手に小切手帳を持つてゐる。女はそれを見ると『こんなものあとこと』と、男の手から小切手帳をひつたくつて、ぽんと床に投げ出し、両手で男の手をとつて、甘えるやうな誘惑な瞳で男の顔をぢつと見る。
男は困つた顔をして、女から目を反らし横を向く。
女はその目を追ふやうに、男の方に身をすり寄せ、男の右の肩の上に自分の顔を埋めるやうにして、しなだれかかる。
男はますます困つた顔をしてゐる。
女は右の手で男の胸を探るやうにしてネクタイを掴む。それを指先でひねくり廻して、おもちやにしてゐたが、とう〳〵引つ出してしまふ。
男はそれを見て苦笑しながら、ネクタイを元通りにチョッキの間へ入れ直す。
女は又同じことを繰り返す。
男は再び苦笑して又元通りに直す。
女は三度それを繰り返へし、左の手を男の頸の後ろへ廻はして自分の顔の方へ男の顔を無理に向けさせる。
男の顔と女の顔が向き合ふ。
女は燃えるやうな唇を男の方へ持つて行く。(P・C・L)」

これなどは技巧的に相當難かしいから、演る前に氣分を出す順序や技巧の段取りなどもよく考へて置かないと、相手に迷惑を及ぼし折角の場面を壊してしまふことになる。

×

戀愛場面の演技は初心者に取つて一番困ることで戀愛演技に與へられたる場面を演ずることが出來ない。いやに氣まりが惡がつたり、はにかんだりするものだ。如何に戀愛遊戲の經驗を持つ者でも、いざ男と女が並んで、その場面に引据ゑられると、演技を考察しないで先づ實感が先に湧き上つてしまう。まして純な人同志ならば何と氣まりの惡い何だか擽ぐつたいやうな氣持から、なかく脱却し難いもので、實感の陥穽なしに演技だけを見ることは出來ない。

女の手を握るとか、肩に手を掛けるとか、女を抱くとか、男の手を強く握り返すとか、男の腰や脚に凭れかかるとか、途には接吻迄高潮さして行くとか、さうした神介を、何のこだわりもなく藝的な氣持で、然も情熱的に演じて行くことに努力しなければならない。『實感』は『藝』ではないのだから互ひに生々した異性と見ずに中性位に考へて取扱ふ意識を一時も早く付けなければならない。それには丁度醫者が裸體のモデルに對する時の様に平静な氣持、又彫刻家が粘土を取扱ふ様に一つの材料として見、互ひに演じて行かねばならないのである。

『美しき鷹』(P・C・L)のスナップ

續手相學入門 (一)

桑原英子

神秘な運命線

手相の中で神秘の線は運命線でこれは生涯の重要なる事件を尋るものとされてゐます、この運命線の形状即ち根を發してゐる所及び昇つてゐる方向に依つて、その人の運命への歩みを知ることの出來た事實を多くの手相学者は統計的に列挙してゐます

また科学的に見て、今日未だ手相学が體系的に研究し盡されてゐない状態であるため、全く人智では探究し得ぬところが残つてゐます、この世の中にはまだ科学で説明の出來ない神秘が存在してゐる以上、この運命線もただ「神秘」の二字にあづけるより外はありますまい更に多くの人々の中には、全く同型と見える運命線を有してゐる人もありますが、運命までも同じであるとは申されません、何となればこの運命線だけが相似てゐるからといつて、親の遺傳や環境或ひは生れ日の相違や手の形状及び掌中の諸表象に自つから別なものがあるからであります、自然そこに、運命の相違も見出されるわけであります

菊池寛氏の右手
太陽線　知能線　感情線　運命線　生命線

運命線の種々相

(1) 切れ切れの運命線……運命線に於ても、他の線と同じやうに何等の乱れも無く、全く明瞭に長く現はれてゐるのは良い運命をたどる表示で、切れ切れになつてゐます、良に不思議にもこの四角形は、その起らんとする危險の直前に或る一種の警戒的暗示をうけて、未然に防ぎ得ると云ふ良に数世主のやうな不可思議な役目を果たとひ、切れ切れの運命線でも優秀な智能線や太陽線等のある場合には、その缺點を隠すことが出來るとされてゐます、智能線が運命線に與へてゐる不思議な力は、常にかかる運命への良き補助となり得るからであります

(2) 四角形のある運命線……之は其線によつて示される意味の危險から脱れ得た事を示すものとされてゐます(この四角形のある線の持つ意味はどの線でも共通ですが)運命線にある場合は、多く財政上の損失や破綻等が、思ひ設けない方面からの援助によつて、救はれることを示すものとされてゐます

(3) 二本並行してゐる運命線……職業が二業を兼ねてゐることを示すものでありますが、たとひ現在二業持たなくとも、内心持たんことを企畫してゐる場合に多く見られます、またこの二線並行の人は、比較的周囲の影響や束縛をうけず、自由行動のとれるやうな人にも往々見るところであります女性は一般に男勝りで獨立心が強く女主人として立てるだけの手腕家でありますが、二業が立派に成功するや否やは他の掌線を參考にしなければなりません

(4) 月丘から昇つて智能線に押へられてゐる運命線……始めは比較的苦勞も無く、自己にとつては満足な運命を辿つてゐたものが、或る時期に於て理性を忘れた軽率な行動のため、その生涯中に一大汚名や大きな運命上の障害を起したことを示すものとしてあります、しかし、止つてゐる傍から更に新しい線の昇つてゐる時は、第二の人生航路をスタートしたことを語るものとしてあります、以上のほか、なほ数通の種別がありますが、省略致しました

(5) 天下取りと呼ばれてゐる運命線……頭の働かせよう如何では、思ひのままに立身出世の可能な時代には、この線を天下取りと云ふ有難い名稱を付され、事實この線を所有してゐた人で、天下を取つた人もありましたが、現代のやうに、学力の程度だとか、パツクだとかさういふことを云々する時代には、この有難い名稱の線も、いささか場違ひの感がするやうであります、しかし、現代に於ても、相當な地位を築いてゐる人も決して少くありませんが、この線は波瀾万丈の形があります、但し、女性にとつては少しく例外があるやうで、運命的には餘り幸運型とは申されない節もあります、尤も手相鑑定は絶對に一本の線だけを見て断ずるわけにまゐりませんので、この運命線にしても、掌中に何か良い線の表象がある場合は、獨得の優れた立派な地位を築くことの可能性が認められます

(6) 島を形成してゐる運命線……職業上及び家庭上から襲された過去の障害の記録であります、多くの手相研究家はこの島に依り、やがて将來起るであらうところの運命の障害を報知する信號であると説いてをりますが、不幸經驗を逃ぎ筆者は確實に逃ぎ将來を豫言するところの記號を見たことがありませんが、過去の歴史を示すところの記録としては數多く經驗して居ります

(7) 島によつて停止してゐる運命線……運命上の障害が因を成して、精神的にも全く立上るだけの勇氣を失つた事を示すものであります、この障害は如何なる原因から來たものであるかは、掌中の他の表示を綜合しなければ斷定出來ませんが、一般に經濟上の損失や破綻等が主な原因であると説いてゐる人もあります、しかし、例外も相當多く見られることは勿論であります

後藤万泉氏 戰地へ出發

後藤万泉氏は、JFAK、軍用犬協會等の囑託となり、軍用資料蒐集のため近く○○方面へ出發することになつた

新公園の音樂

台北音樂隊の十六日夜新公園音樂堂に於ける演奏曲目は次の通り
一、行進曲 我等の樂園 スーザ作曲
二、伊太利古代の舞踊曲 ロマネスカ チコフ作曲
三、幻想曲 光と空 ベルゲンホルッ作曲
四、巡邏曲 安南土の行列 臺北音樂會編曲
五、序曲 獅子の目醒め コンツキー作曲
六、コルネット獨奏 魔法の喇叭 サリバン作曲
七、大日本軍歌集 戸山學校軍樂隊編曲
八、歌劇「椿姫」の抜萃曲 ヴエルディ作曲
九、軍艦行進曲 瀬戸口藤吉作曲
(雨天中止)

事變と讀物 富士十一月號の大讀物「軍國感動大特輯」には一流作家の傑作七篇が收められてゐるが何れも生々しい事實に取材したもので一讀感動感激、愛國の熱涙を禁じ得ぬものばかりだ

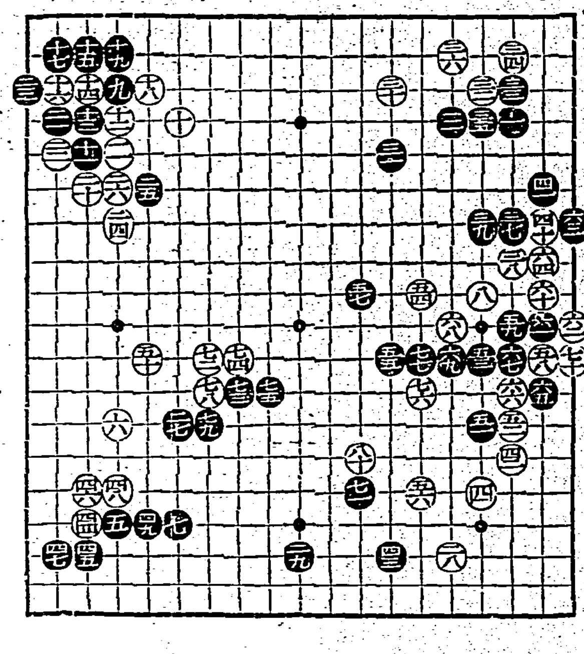
ああ南野中尉 南京空襲で壯烈な戰死を遂げた南野海軍中尉が○○基地出發前夫人章子さんへ寄せた手紙に次のやうな文句があつたでもやつた由、注射をすれば赤ン坊が元氣なばかりでなく、姙婦の悶り惡くなるのを防ぎ又髮の毛の脱落を防止するとのことなり、産婆や醫者に相談して早速始められんことを望む……と。この手紙に現はれた中尉のやさしき心の半面を知るにつけても今更の如くその死が惜まれるのであるが、若き未亡人に今日此頃はどれだけ淋しい秋が訪れてゐることであらうか『講談倶樂部十一月號』

本日軍醫官及び先輩の話によれば、生れ出る赤ン坊は元氣とのこと、最近分娩した伊賀中尉の姙婦が「カルシユーム」の注射をす

有段者十人拔碁戰 (第二次戰)(三局ノ二)

本社主催

稻澤氏一勝 同二目同 先番 三段 稻澤克忠 (四目半ミコ出)
相先 三段格 安達久三
審判者 四段 日本棋院 鈴木為次郎



●四二ろ六　○四二は十四
●四三と一七　○四四れ一六
●四五れ一七　○四六れ一五
●四七そ一七　○四八た一五
●四九よ一六　○五〇よ一一
●五一に一三　○五二は十三
●五三に一一　○五四へ一九
●五五と一一　○五六へ一一
●五七ら九　○五八ろ一一
●五九は一〇　○六〇ろ九
●六一ろ一〇　○六二い一〇
●六三い七　○六四ろ八
●六五ろ一二　○六六に一二
●六七ほ一一　○六八に一〇
●六九ほ一一　○七〇い一一
●七一ち一五　○七二わ一一
●七三を一二　○七四を一一
●七五る一一　○七六へ一二
●七七へ一一　○七八わ一二
●七九わ一三　○八〇ち一四

評解 稻澤克忠

前譜白四十と黒四十一との交換疑問ですが筆者は四十を以て單に五十四に一間に飛びその時黒四十三に詰めて來た時「とノ十五」と曲子して居る方が白として堅實なる姿勢の樣に思はれます、随て四十二は緊過ぎた様な氣がします、白四十四、四十六の付け引きも疑問で寸白五十迄となつて下辺に確實なる地域を作らした事は面白くない樣に思はれます然し四十四、四十六と打たれた以上白五十は省けません若し白五十を手拔きすれば黒直ちに五十或は「たノ十一」と打ち込んで行きます、白五十六は良い手でありますが五十六を省略しますと黒が此の方面に一押へますと下辺一帶が破りに彫穴になり過ぎます、黒五十七如何、五十七を五十九、白五十七黒「りノ十七」と云ふ良に運ぶのはどうでしたか…黒五十九打ち過ぎでした、打たずに「かノ十一」に頂けて打つのでしたか白七十六、七十八に打たざるを良しとす

商況 (十五日)

正米市場前場

[illegible]	[illegible]

大阪期米前場

[illegible]	[illegible]

東京期米前後

[illegible]	[illegible]

神戸期米前場

[illegible]	[illegible]

東京短期前場

[illegible]	[illegible]

東京長期前場

[illegible]	[illegible]

大阪短期前場

[illegible]	[illegible]

大阪長期前場

[illegible]	[illegible]

東京銀行賣株

[illegible]	[illegible]

東京國債賣物前場

[illegible]	[illegible]

大阪砂糖清算前場

[illegible]	[illegible]

大阪砂糖現物

[illegible]	[illegible]

神戸豆粕前場

[illegible]	[illegible]

大阪綿絲前場

[illegible]	[illegible]

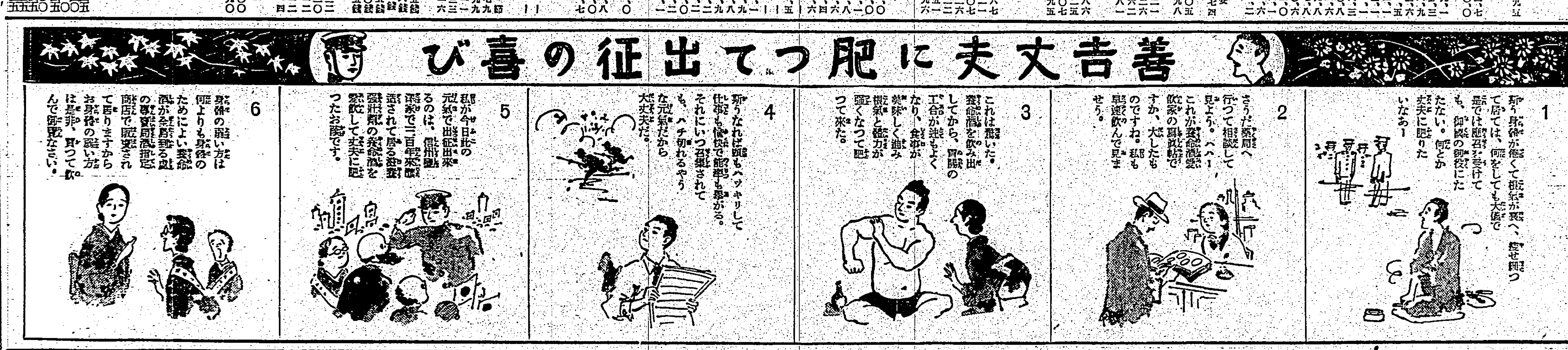
神戸對外爲替

[illegible]	[illegible]

潮汐 (十六日)

	基隆 滿潮	基隆 干潮	淡水 滿潮	淡水 干潮
前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

善吉文夫に肥つて出征の喜び



コドモのかぜねつにオイン

幼兒の熱は突發する！
必ず「オイン」をお與へ下さい
大人用の藥は往々強過ぎて、中毒の危險があります

オインは……
小兒の體質に適應し
絶對に副作用がなく
少量で、服み易く
スラく熱を下げ
早く良く効く小兒藥です
子ある家庭に必ず一瓶！

主効
子供のかぜ、ねつ
はやりかぜ
肺炎、麻疹
百日ぜき
其他一般熱に良好

價 0.20 0.30 0.50 1.00
發賣 東京・大阪 丹平商會

臺灣日日新報
日本夕刊共十二頁
編輯兼發行人 佐々木 ...
發行所 臺北市榮町四丁目 臺灣日日新報社

社説

疾風迅雷的な皇軍の進出 支那の長期抗日は一炊の夢

一

支那事變勃發以來茲に三月、皇軍は北に、南に、空に殆ど支那全土を席捲し、世界無比の威力を發揮しつつあり。特に最近に於ける北支の戰局は、疾風迅雷的な大勝の連續により、我將兵の大部分は既に決定的であり、更に我が無敵空軍は、早くも制空權を確保し、又海上に於ても、支那は全然抵抗力を喪失し、支那軍は僅かに上海戰線を死守するのみである。上海戰線に於ても亦、支那軍は皇軍の果敢な進出に依つて、近く殲滅されるべく、斯くて支那軍の全面的大敗は、今や指顧の間に迫つた。結局、武力に依る對日抗戰は、全然不可能なる事が、日に日に明かにされつつあるのである。蔣介石は此の慘敗たる事實に直面しつつ、面子の爲に、猶も長期抗日の聲明を示してゐるが、所謂破竹の勢ひに、長期抗日戰の如き、遂に南柯一朝の夢に終るべき運命にあるのである。

二

第一に支那は近代戰爭に於て、長期抗戰の戰力を持たない。軍需工業に於て、何等發達せるものなく、軍器は外國の供給を、仰がねばならぬ。我が海軍の交通遮斷は、此の點に於て、支那に重大な打撃を與へつつあり、更に國防上の必要資源のみならず、食糧其の他の必需品の補給をも、困難ならしめて居る。第二に南京政府の財政的窮境は極端である、沿岸交通遮斷に依り、海關收入の如き、皆無となつて了ひ、又心臟部上海が、戰禍の地と化して以來、南京政府の收入は、大打撃を蒙つてゐる。救國公債のみじめな成績から見ても、軍費獲得上、支那が自力に依る事は、不可能に近いのであつて、現に紙幣濫發は、益々國內を混亂に陷れるのみであらう。結局、外國の援助に頼らざるを得ないが、支那側の希望するが如く、外國借款は、支那の信用の上から、更に國防上の必要的に大したものを獲得し得ない事は確かである。結局、外國借款に依つて得る代償は、列國の經濟的侵略のみである。

三

斯くの如く、支那は長期抗日の結果、國力を消耗し盡すのみであると共に、支那として、最も警戒すべきは、社會革命の危險である。南京政府は、抗日の名の下に、國共合作を再現したが、事實は共產黨の勝利を容認である。國民黨と共產黨は、元來、其のイデオロギーに於て、氷炭相容れざるものであり、南京政府の如き共產黨とは、到底兩立し得ざるものである。國共合作の前途は、對日抗戰の敗戰の結果、再分裂か、或は全然赤化するかの二途あるのみである。此の情勢に於て、塗炭の苦しみの中にある支那民衆は、何處へ行かんとし、何を思ふか。都市は破壞し、農村は荒廢し、失業者難民が激增する。又南京政府の戰慄の恐怖政治の展開は、戰敗の色愈々濃きに及んで、支那民衆をして、抗日戰の苦難の外何等の意識なきを悟らしめるであらう。南京政府の、強要される國策に支那民衆が服從し得ざるは、支那の歷史に依つて察せられる。民衆の憤怒と抗戰が爆發すべき時が必ず來る。即ち長期抗日は、敗戰が決定的となるに及んで、自ら內から潰えるべき事が、豫言されるのである。

支那を正視せよ 國府は利權の集團
"條約違反"は見當違ひ
全米記者を前に 齋藤大使喝破

【ワシントン十四日發本社特電】齋藤駐米大使は十四日ワシントンの全國記者クラブ午餐會の主賓として招かれ今回の事變以來始めての公開演説をした、來會者五百、非常な盛會でワシントンが全米記者活動の中心地であるだけに同大使の發言は非常に注意を惹いた、大使は今回事變が明らかに支那の挑戰によるもので日本は已むなく根本的解決に乘り出さざるを得なかつた事等現在迄の推移を述べ、更に日本は支那の資源と市場とを必要とし支那も亦日本の商品を必要とするに拘らず通商の常道が支那軍閥の爲阻止される理由はないとて國民黨の排日運動に言及支那の無秩序狀態支那政府が近代的國家の形體を備へない利權的存在たる事等支那の現狀を說明、次で日本が九國條約其他の違反國呼ばはりを受ける理由はない事、日本の眞意は法と秩序を齎らさんとする事、現在日本の在支居留民の莫大な投資が危險にある際、我々として之を保護するは餘りにも當然な事だと說き、最後に第三國の調停干渉は問題の解決を困難ならしめるのみで平和に資するものでないと語り排日教育と排日運動が止れば日支關係はよくなる、我々は之が反省を支那に求めるのだと結んだ 尚日本は支那と講和を希望するやとの質問に對し大使は然り、但し第三國の介入によるは不可であると其理由をあげ明快率直に答へ、多大の感銘を與へた

羅店鎭で大激戰
三百の支那逆襲兵を二十米に引よせ撃退

（上海十五日發同盟）上海北部戰線の支那軍は嘉定の護りを固くするため執拗に羅店鎭奪還の夢を捨てず十四日午前三時頃その〇〇地區に對し約三百をもつて迫つて來たのでわが〇〇部隊は敵を二十米の前方まで引き寄せた後、機銃と小銃の齊射を浴せかけたので敵は周章狼狽して死體百五十を遺棄して潰走した、尚この戰鬪に於いて一等兵增田光雄、上村秀見、竇銅勝春の三勇士は名譽の戰死を遂げた

軍事施設を爆擊

【上海十五日發同盟】十五日午後四時三十分[illegible]少佐指揮の海軍航空隊〇機は[illegible]を爆擊し多大の效果を收めて無事歸還した

日本軍は世界一
戰史に輝く新記錄ばかり
獨紙が皇軍を賞讚

【ベルリン十四日發本社特電】ドイツのアルゲマイネ・ツアイトゥング紙は十四日の紙上にて支那に於ける日本軍の迅速果敢なる進擊振りを激賞し左の如く述べてゐる
日本軍は世界に類のない記錄を示した、即ち上海戰線にては集中的戰鬪を、北支戰線にては最大限度の進擊的戰鬪を行つてゐることだ、日本軍は近年その裝備を著しく改善し近代化したので近代戰の必要條件は一つも缺いてゐない、日本軍は今日世界に於ける最も優秀な軍隊の一である、北支に於る日本の兵は強行軍を敢行し時に世界の戰史の上に記錄を作りつつあるのだ日本軍の迅速な前進振りは情況こそ異なれ世界大戰初期のフランスに於て作つたドイツ軍右翼の戰果に勝るとも劣らないものである、日本軍の戰鬪振りは北平から平漢線に沿うて進擊する部隊が僅か六週間で滹沱河に達したこの事實によつて證明される之は日本軍が戰ひ續けながら一日平均六十五粁を進擊したことを意味するもので驚くべき迅速振りと言はねばならぬ

肉彈三時間
工兵決死隊に續き 下王莊を占據す

【山西省保平鎭十五日發同盟特派員】滹沱河岸下王莊部落にて必死の抵抗を行つてゐる敵凡そ二千に對し十五日払曉井上部隊長の指揮する我が工兵決死隊〇〇名は爆藥を抱いて一齊に突入し部落內敵陣地に爆藥を投込み一擧に勇壯無比な突擊を敢行した、栗飯原部隊の一部はこの工兵決死隊の爆破と同時に猛然と敵陣に躍り込み壯烈相搏つ激戰三時間の後午前八時四十分下王莊の敵陣地を占領したが下王莊は目下炎々たる火災を起し黑煙天に沖してゐる

津浦線の敵軍 南方へ退却
第二線陣地を構築

【津浦線〇〇十五日發同盟特派員】十五日當地に達した偵察報告に依れば我軍の急追に耐へ兼ねた津浦線の支那軍は省境、泊頭鎭方面から南方へ退却を續けてゐる、尚津浦線の支那軍は第二防禦陣地構築に躍起となつて居り大汶口附近には巨大な陣地が築き上げられてゐるのが認められた

兩部隊進出

【天津十五日發同盟】當司令部十五日午後四時發表 [illegible]

軍用列車爆破

【旅順十五日發同盟】旅順要港部十五日午前十時三十分發表 わが〇〇艦隊〇〇機は十四日午後津浦線を爆擊、徐州、大汶口（泰安の南）附近で軍用列車を發見、[illegible]機關車八輛、貨車八輛、レール二箇所を大破せり、[illegible]つつ無事歸還せり

敵機を擊墜

【〇〇にて十五日發同盟特派員】山西省に於るわが空軍の活躍目覺ましく十五日朝雲交りの寒風を衝いて山西省忻縣方面に出動したわが山下少尉の指揮する〇機は忻縣附近の西方上空において敵機三機に遭遇、壯烈なる空中戰を演じて敵機一機を完全に擊墜、殘る一機は負傷として南方に遁走した、[illegible]わが〇〇機は[illegible]方山地にあつてわが地上部隊の前進を阻みつつあつた敵の大部隊を發見し爆擊を行ひ、更に機關銃の掃射を浴せかけてこれを潰走せしめた

參議十氏に發令
官制もきのふ公布

【東京十五日發同盟】臨時內閣參議は十五日左の十氏に對し正式發令された

陸軍大將 宇垣一成
同 男 荒木貞夫
海軍大將男 安保清種
同 末次信正
町田忠治
前田米藏
秋田清
男 鄕誠之助
池田成彬
松岡洋右

【東京十五日發同盟】臨時內閣參議官制は御裁可を經て十五日勅令をもつて公布された

末次新參議 活躍期待さる

【東京十五日發同盟】內閣參議就任のため現役を退いた末次信正大將は明治三十二年兵學校出身の名將で小林台灣總督の一期後輩である大將は中佐時代わが艦船の主砲搭載裝備を現在の如く改裝すべき事を時の軍令部長に進言した先覺者であると共に我潜水艦隊育ての親である聯合艦隊長官を經てロンドン海軍會議當時は軍令部次長の要職に在り部長加藤寛治大將を輔けて活躍しその後小林台灣總督の後任として聯合艦隊司令長官となり次いで橫須賀鎭守府司令長官を歷任し軍事參議官に親補されて今日に及んだ名提督で今後參議としての活躍が期待されてゐる

財政難の支那政府
新財源に血眼
非常時期印紙稅暫定辦法を制定 各種の新稅も計畫中

【上海十五日發同盟】國稅、關稅、鹽稅の三大稅源を喪失した國民政府は一方膨大なる軍費の支出を控へてこれが補塡策に苦慮してゐるが此程「非常時期印紙稅暫定辦法」を制定し十月十日より實施した、これに依り從來の稅率は倍加されてゐる、因みに近年の印紙稅收入は年額千二百万元前後で歲入總額の僅か一分餘りに過ぎぬ更に國民政府は近く遺產稅の創設を計畫して居り其他各種新稅の創設或は增稅に就いても準備を進めてゐる模樣である

杉山陸相が 感謝電
皇軍の活躍に對し

【東京十五日發同盟】綏遠、山西方面における皇軍の果敢なる活躍に對し杉山陸相は十五日午後六時三十分植田關東軍司令官宛左の如き感謝電報を發した
綏遠の攻略を祝す、山西、綏遠の各地における各部隊の勇戰奮鬪の爲めに皇軍の威武は愈々中外に揚り不毛險惡の地において軍に從ふ將兵の勞苦を多とし此の間の榮譽ある殉難者に對し敬弔の意を表す、右謹んで部下各部隊に傳達を乞ふ

臺閣牧占領

【綏遠十五日發同盟特派員】中島部隊は十五日払曉西北に遁走する敵を急追し〇〇方面に進擊先鋒部隊は早くも臺閣牧を占領し更に西進中である

ローマ法王廳 我聖戰を支持
カ教團體に重要指令

【ヴァチカン十四日發同盟】ローマ法王廳に於ては曾にスペイン革命政府を承認し更にボルシエヴィズム排擊の決意を表明したが、今日まで極東における日本の反共聖戰に對しては態度を表明する事を避けてゐたところ十四日非公式ながら始めて極東におけるカトリック教團體に對し左の如き指令を發した

一、ボルシエヴィズムの危險が明かに現はれた場合は到るところで日本の行動を無條件に支持する
一、日本官憲當局に對しカトリック教會側には日本と完全に協力する上に障碍となるものは全く存在しない旨の明瞭な言明を與へること

定例閣議

【東京十五日發同盟】十五日の定例閣議は午前十時四十分首相官邸に開會、近衞首相以下各閣僚出席先づ近衞首相より內閣參議の人選に就き夫々決定上奏の手續を了することになつた旨述べ各閣僚の諒解を求め、更に諸般の準備が整へば來る十九日の閣議後初顏合せを兼ね午餐を共にしたい旨述べ、次で賀屋藏相より國民經濟能率增進に關し各省自らその範を示すことが必要であると思ふ、就ては各省においても極力無駄を省くこととし、被服用品其他を節約し得るものあればこれを次々に實行に移すやうにしたい旨を語り、各相も協力することを申合せ、最後に杉山陸相より北支並に上海方面の戰況に就いて南方面とも順調に進捗しつつある旨報告あつて正午散會

資金調整法 臺灣にも施行

【東京十五日發同盟】臨時資金調整法を台灣に施行するの件の勅令は十五日公布された

配當率引下げ

【東京十五日發同盟】生保協會では十五日午前十時より各社協議會を開催、過般來懸案の生保契約者配當率の引下げ問題に關し協議の結果、加盟各社一齊に來期より現配當率を一割方引下げることに決定、午後四時右に關する申合せを發表した

謹訂

【東京十五日發同盟】十五日御豫定內記事中秩父宮同妃兩殿下[illegible]皇后陛下と御對面の[illegible]て取消します

人事

▲赤田知事氏（專賣局長）十五日夜行にて歸任
▲內藤英雄氏（國際日本協會理事）十四日南部より來北（鐵道ホテル）
▲宮崎鎭吉氏（勸銀支店長）十六日內地より歸臺

天無口

〝持てる國〟の雄である日本、伊太利、獨逸の三大國が、ガッチリと腕を組んで堂々たる國際政局の陣頭に驅を進めつつある姿は、勇ましくもあり又〝持てる國々〟に取つては大きな脅威でもあるだらう▲極東の支那事變に就て、ドイツや伊太利が最初の間は困つた樣な顏をしたのは事實である。なぜなら、兩國とも支那は有望な華客先であり、有力な儲け口であつたから。その上支那側でも、獨伊が日本と結ぶことを恐れて特別に獨伊には好い顏をして色々な取引や約束などをして來てゐる。例へば獨逸からは機械その他の物資を買つて居り、又伊太利は伊太利の陸軍教官を傭つて居り、獨支の空中連絡飛行をやつたり、又伊太利は澤山に飛行機を買つたり飛行教官を送つたり商取引や技術等の上でも面白い話があつたりして、日本に味方するために好い華客先である支那を失ふことは苦痛であつたに相違ない▲だが、ムッソリニが先づ對日態度を極めて明かに判然させ、獨逸も防共協定の手前もあり、此頃では伯林、羅馬伯林に東京が一枚加はつてTBR協定と變つて來た▲これといふのも獨逸にせよ、伊太利にせよ、共產主義とは何としても倶に天を戴けないからだ、若し支那が容共の政策を採用しなかつたならば獨伊の對日態度は必ずしも今日の如きものではなかつたかも知れない、支那が赤くなつた爲めに、日獨伊は固く結んだ訳である。

埃及政府大緊張
首都の防空に狂奔し
徴兵制施行も計畫

（カイロ十四日發本社特電）エヂプト政府は地中海並に東アフリカに於ける英伊の對立激化に備へ首都カイロ市の防空設備に狂奔してゐるが確聞するに更に全國に亘り徴兵制を施行するに決定したと云はれる、政府は近く徴兵法案を議會に提出承認を求めると見られるがイタリア政府がリビア植民地にファシスト軍團を派遣し、英陸海軍の一隊及び軍用自動車九十五臺十二日アレクサンドリアに到着したとの報道と相俟て北アフリカの情勢は刻々緊迫を加へてゐる如くである（凸版は緊張する東阿と地中海）

伊、盛んに增兵

（ローマ十四日發同盟）イタリーのリビアへの派兵は其後も續々と夜を日に繼いで行はれ十三日夜は約二千五百餘の部隊がナポリを出發一路リビアに向つたが、更に十四日も步兵、砲兵、特別機械化部隊衛生隊より成る七千の軍隊が、リビアに向け出發した軍用船も續々徴發され目下數隻の船が軍隊輸送船として待機してゐる現在リビアに駐屯するイタリー軍の兵力は既にエジプトに於ける英國駐屯兵及びチュニスに於けるフランス駐屯兵を壓倒する大勢力を擁するに至つたがムッソリニ首相は更に五萬の本國部隊をリビアに派遣する意向と言はれてゐる

南京を空爆

【上海十五日發同盟】昨十四日午後五時三十分中野少佐指揮の海軍航空隊〇機は再度長驅南京に飛び大校場飛行場及び各軍事施設を爆擊したがわが果敢な荒鷲を迎へ擊たんとした敵機は鳴りをひそめて飛ばず唯地上部隊の猛射に遭つたのみで[illegible]南京上空を壓し多大の效果を收めた

敵陣地空襲

【上海十五日發同盟】わが海軍航空隊は十五日早朝より四回に亘り陸軍部隊及び陸戰隊の作戰と協力し閘北江灣南翔の敵陣地に對し爆彈の雨を降らせ徹底的打擊を與へた

支那軍逆襲
八時間餘りに亘り激戰

【羅店鎭十五日發同盟】上海北部戰線の支那軍は十四日夜半を期し步、砲の三段構へに依る逆襲を行ひ來り全線に亘つて約八時間餘の激戰が展げられたが十五日早曉多大の損害を殘して潰退された

正式調印方 大使に訓電

【東京十五日發同盟】日ソ漁業假協約調印問題は假調印を了し、昨年十一月二十日正式調印の運びとなつてゐたが調印の寸前においてソ聯側は日、獨防共を口實に取つてその約束を一方的に破棄し去つたのでわが方は昨年十二月二十九日現行條約の一年間延長の暫定的取極をなしたが暫定的協定の期限も十二月三十一日を以つて滿了するので廣田外相はこの程在モスクワ重光大使宛既に假調印を了へた改訂條約の正式調印方を訓電した

イタリーも參加か 獨白不可侵に

【ローマ十四日發同盟】ドイツ政府は十二日ベルギーとの不可侵宣言を發表したが確聞するにイタリー政府も近く同宣言に參加を表明するに決したと云はれる

堀航空兵團長 飛行機で嘉義へ

堀航空兵團長は十五日午後總督、軍司令官訪問後同部副官、吉野參謀を隨へ部隊巡視の為二時半台北發飛行機で嘉義に向つた

岸田參與官が 臺灣南支視察

【東京十五日發同盟】海軍參與官岸田正記氏は台灣、南支那方面における航行遮斷に從事中の艦隊將兵慰問を兼ねて一般情況視察の為め十七日午前九時東京驛出發することになつた、十一月四日歸京の豫定である

日本會計學會編 評價總論 評價各論 評價學說研究
【最新刊】選擇自由分賣 各冊上製函入 正價各貳圓 送料各十四錢
「本書は日本會計學會創立二十周年を記念すべく我會計學界の第一線に立つ指導的學者實際家の寄稿三十有餘篇を輯めて成れる論文集である。然も單なる諸論文の蒐錄に墮することなく「評價問題研究」なる綜合題目に對して各人の研究目標を集中することにより茲に潑剌たる共同勞作の產物としての體系的研究を完成し得たのである。評價はまさに會計問題の中心を形づくる。評價こそ企業經營上先づ以て解決すべき基本問題でなければならぬ。而して評價問題に關する最も權威ある最も廣汎なる最も尨大なる研究成果が即ち本書である」
★我會計學界の第一線に立つ指導的學者實際家の珠玉の大集成
會計學文獻中の必讀書として敢て研究家實際家の座右に推薦する。
發兌 東京神田小川町 森山書店 振替東京三二九一九番 電話神田三〇八〇番

東京商工會議所編輯 商工經濟 十月號 第四卷第四號
◇時局と財界の前途……飯田清三
◇戰時貿易管理政策の檢討……猪谷善一
◇現下の金融狀勢と日銀の職能……岩井茂
◇臨時資金調整法に關して……渡辺佐平
◇獨逸經濟團體の有機的構成(一)……小穴毅
◇諸國に於ける小賣商許可制度……田中幸雄
◇支那に於ける工業化の問題と外國資本……島田俊夫
◇貿易管理への道……宇高基輔
▶第七十二回議會を通過せる產業關係重要法律
◀財界展望▶ 第一概觀 第二金融 第三商況
定價三十錢（郵稅一錢）半年前金一圓八十錢（送料共）一年前金三圓五十錢（送料共）

日本會計學會編輯 會計 第四卷第四號 十月號
◎綜合償却法の問題……太田哲三
◎自動車運送事業と車輛の減價償却問題……島田孝一
◎最適經營とその費用構成……久保田音二郎
◎經營處理と原價計算……山邊六郎
◎國際利子と所得稅……近藤弘治
◎退職積立金及退職手當法會計解說……若林長兒
◎月賦販賣の判例と會計處理法
◎損害保險會社責任塡補能力に就いて……田村繁則
◎在庫品の數量決定に就いて……杉森二郎
◎決算計算問題の型と解き方……白石惠治
◎橫濱・京城兩高商入學試驗問題解答……古川一夫・井上達雄
▲第七十二議會を通過したる租稅關係法律案に就て
▲臨時資金調整法 ▲臨時資金調整法施行令要綱
▲國債現在額 ▲計理士登錄 ▲地方別計理士數一覽表 ▲編輯後記
每月一回・一日發行 定價五十錢
計理士・會計事務擔任者 企業經營者 會計學・經營經濟學・研究者の好指針
大正六年四月創刊 本邦唯一の研究雜誌

硫安公定建値引上げを決定
農林、商工の協議成る

【東京十五日發同盟】次期（明年一月より七月まで）硫安公定建値に就ては硫安肥料販賣組合の内申に基き十四日農林省において農林省小濱農務局長と商工省黑田鑛山局長との間に協議を行つた結果、次の如く決定したので、組合では同夜役員會を開き正式決議の上十五日農林、商工兩省に對し正式申請をなす筈

一、需要地に建値を各期共十貫入、一月二円六十二錢、二月二円六十七錢、三月より七月まで二円七十二錢

一、朝鮮における販賣は内地販賣價格と同一條件で販賣するものとす

一、歩引その他の販賣條件は從前通りとす

卽ち現行十貫入二円五十八錢に對し五錢乃至十五錢引上げられたものであり更に今春の統制實施に伴ふ最初の建値二円四十錢に對しては二十二錢乃至三十二錢の引上げに當る

決定迄の經緯

【東京十五日發本社特電】今回の次期硫安建値決定事情を見るに、今回は政府、業者ともに前回の經緯に鑑み愼重なる態度をもつて臨み、種々事前工作を行つたにも拘らず依然雙方の意見接近せず一時はかなりの紛糾が豫想されたが、結局時局の重大性に鑑み円滿解決を見るに至つたものである、卽ち最近硫安原價は燐石、石炭、硫化鐵、包裝材料等の直接生產費に稅金、營業費等の間接生產費の値上りを見てゐるが、業者は時局に鑑み間接生產費値上りは自己負擔とするも、直接生產費の値上りだけは建値を引上げることに十三日の理事會で意見一致し、最高三円八十錢見當を當局に內申した、然るに之は當局の承認する所とならず業者中には最近の採算關係逼迫のため强硬論を主張する向もあり一時は紛糾を豫想されたが、商工、農林兩當局と業者間に數次折衝の結果業者も事變による農村の窮狀打開に協力するとの國家的見地から譲歩し今回の決定を見たものである

信用保證協會の出現要望さる
中小商工座談會終る
臺北州主催

臺北州主催の中小商工業者座談會は十五日午前十時より臺北市公會堂に於て開催、田知事座長の下に鈴木內務部長、社會課長、商工課長等を初め各方面の關係者多數出席、次の如き要望が提出された

一、一名もなく一日も早く實施を要望した

二、金融に關する意見交換、市中金融機關よりの融資物品購入代金の支拂期限方法等保證人を得ることの困難、保證人なきため充分活動出來ざる事實、資金借入額の程度

三、業者の組織化問題、專門商店其他業者の組織化、專門店會を臺北市に成立の催告

四、中小商工業者の要望、對策組合設立要望中小商工業の許可制限、拂渡廢止等の問題、商業組合につき緊急なき意見を交換し午後四時半散會した

資金調整法と勸銀島內三店
自治調整機關としての認定を受くる見込

臨時資金調整法は愈々十月十五日より施行されることとなつたが、勸業銀行では既に同法の內地施行と共に自治調整機關たるの認定を受けたので、去る九月二十七日以來內地本支店は勿論臺灣三支店においても法の精神に則り夫々自治的調整を計つて來たが、今回新法の如く臺灣にも同法の施行を見るに及び、島內三支店に於ては台銀、台拓と共に自治調整機關としての認定を受くべく目下其の上申書提出中で、近く認可される筈であるから、今後は名實共に本島における自治調整機關として國策金融上重大國策に協力することとなる譯である

軍需中心に臺灣の苧麻統制
檢査制度で品質を維持
販賣先、數量等を制限

臺灣における苧麻の統制に關しては既報の如く臺灣總督府殖産局において研究した結果、當局の方針は大體左の通りである

檢査制度……品質の向上維持を期する趣旨を以て各州、廳に檢査規則を設け、一等から三等ぐらゐまでの合格品を移出市場に販賣せしめる

販賣先……苧麻の用途は時局柄努めて軍需用に振向けることとし、一般民間用途に轉移方面への使用を差控へしめるため使途の調査を行ふ、例へば臺中產品の一部が沖繩上布の原料となる如きも當分は差控へねばならぬかも知れぬ

販賣方法……從來の生產者は…

借入金償還用の拂込增資は認可か
るものと觀測されてゐる

臨時資金調整法は一定金額以上の資本增加及び未拂込株式の拂込徵收をなす場合は認可を要する旨規定してゐるが會社が增資資金又は拂込金を以て新規に事業擴充を行ふものでなく、借入金又は社債の償還に振り當てる場合には原則として許可される模樣である、由來今次の資金調整の目的は資金の移動の調節よりもこれによつて物資の需給調整にある、然るに會社が借入金又は社債の償還のために增資又は拂込をなす場合には物資の需給には何等の關係を有せず又資金關係においても拂込の場合一時的には資金移動材料となるも借入金償還によつて直に相殺されるわけであるから何等影響を及ぼすものではない、よつて借入金又は社債の償還を目的とする資本增加及び未拂込の徵收は原則として認可される

國通は今一度特配
併せて年一割

九月末限り解散となり事業と財產を日本通運に讓つた國際通運は三月と九月決算で法三月決算五月の總會では普通配當年七分の外に一月の總會でも特配二分加へて二三分の特配をなしたが九月決算十月の總會で特配二分加へて居る、同解散と共に殘務整理に着手したが株主は五十円拂込の國通株一株を以て同じく五十円拂込の日本通運一株と交換して貰ふ外國通の積立金中から交付金の分配を受けることになつて居り最近株主總會を開いて交付金の配分を承認することになつてゐる、同國通の常務取締役安座上氏は右總會に出席の爲め十一月に又上京する由

北支から臺灣へ
蜜柑の引合
業者は手具脛引いて待つ

大津では從來台灣から輸入する蜜柑に對し輸入稅を賦課してゐたから大量の入荷はなかつたが今年は事變の結果北支との間に關稅が撤廢されたので北支の明朗化につれ早くも十一月から出廻る椪柑の早期地方たる市部方面に對し本年度椪柑の仕入れ引合が始まつてゐる、新竹、台中の減産に引替へ一倍增收の見込ある台北州の椪柑は出廻り期は來年の一、二月であるだけに、時局による出荷數の豫想が比較的薄く今から京津方面に期待をかけて業者が待機してゐる、台北州柑橘同業組合は州當局指導の下に作業の圓滑を圖る爲選果場を使用せしめる方針で近く共同購入を計劃する由

臺糖總會
年一割二分配當に決定

【屏東電話】台灣製糖會社の本期定時株主總會では既報の如く來る二十八日東京にて開催されるが同社の當期業績を見るに當期總收入高二千五百二十二万四千四百七十三円八十三錢、總支出高二千五百七十八万九千五百九十一円二十九錢、差引利益金九百四十三万四千八百八十二円五十四錢にして機械類其他のため百五十万円を銷却して七百九十三万四千八百八十二円五十四錢の純益金を舉げた、これに前期の繰越金七百九十九万千五百七十一円八錢を合して金一千五百九十三万六千四百五十三円六十錢の巨額に達し、これを次の如く配分することに重役會で決定してゐる

法定積立金	八〇、〇〇〇円
別途積立金	三、〇〇〇、〇〇〇
配當平均準備金	一、〇〇〇、〇〇〇
株主配當金（年一割二分）	二、五四四、〇〇〇
恩給及扶助基金	五〇〇、〇〇〇
製糖及副業研究基金	五〇〇、〇〇〇

廿八日開催の

鹽糖の多角經營
豫定通り邁進に決す

【東京十四日發本社支局特電】鹽水港製糖では今や多角的事業擴張計畫に乘出してゐるがその資金調達に關しては資金調整法の實施に伴ひ兎角の噂を生んでゐるが、同會社側の見るところでは一千万円の社債發行は借入金返濟を目的とするもので、資金調整法の拘束外にあるのだから、恐らくその許可あるべきものと信じて居り一方增資についても一億倍額の約六千万円（現在資本金二千九百餘万円）となさんとするものであるが、右は軍需必需品たる無水アルコール生產施設及び政府獎勵の重要產業たるパルプ工業資金等に充當せんとするものであるから之亦恐らくその筋の許可あるものであらう、唯『日本砂糖工業』の新計畫は時節柄已を得ないものと見て居り乍ら同社では豫定の多角經營發展に邁進する意氣込みである

後期繰越金　八、八四、九七三

右の如く同社は每期の如く大々的の銷却又は積立をなし、その上後期への繰越金は增大する一方で、

增稅に拘らず
納稅成績良好
總督府稅務課調査

總督府稅務課では昭和十二年前期地租、官租及物品特別稅徵收狀況につき次の如く發表した

常時局に依り一段の警發を受け所謂納稅報國の思想が漸次普及せるに依るもので寔に慶賀に堪へない所である

△十二年度前期分地租

州廳名	調定金額	收入濟金額	步合
臺北州	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新竹州	[illegible]	[illegible]	[illegible]
臺中州	[illegible]	[illegible]	[illegible]
臺南州	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高雄州	[illegible]	[illegible]	[illegible]
臺東廳	[illegible]	[illegible]	[illegible]
花蓮港廳	[illegible]	[illegible]	[illegible]
澎湖廳	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]

地租、官租及物品特別稅收は左表の通りで地租に於ては九割九分七厘で前年同期に比し二厘を昇目にて前年同期に比し一厘を向上し、又物品特別稅は每月納付のものであるが九割四分四厘と云ふ成績である。之が原因として州市郡街庄當局の努力は素よりであるが漸次普及しつつある島民の納稅觀念が現下の非…

支那の蠶絲業全滅に瀕す
當業者は大部分逃避

【神戶十四日發本社支局特電】上海より神戶某蠶絲業者の情報によれば擴大途上にあつた支那の蠶絲業はその中心地たる江蘇、浙江、廣東が事變の爲め中央軍や便衣隊の損害に逢ひ當業者は大部分土場を捨てて逃げ去り今や全滅に瀕して居る

鯨から皮革製造
日本水產が乘り出す

【東京十四日發本社特電】日本水產では今回同社の捕鯨工船で捕獲する南氷洋の鯨の皮を材料とする水產皮革製造に乘出す事となつたが、是は世界的に類例の少い試みでその成績は注目される、同社は今春神奈川縣鶴見に建設した水產皮革工場に於て鯨皮による皮革製造の傍ら鯨皮を原料とする皮革試作中の所確信を得るに至つたので愈々同社の圖南丸及び第二圖南丸で捕獲した鯨の皮を材料に本格的製出を開始するに決し鶴見工場の生產能力を倍增し年產百万坪（皮革の一坪は一尺平方）に擴張する爲め工場增築に着手し、工船圖南丸は十一月下旬南氷洋に向け出發する捕鯨船團に裝備する所要機械の據付を急ぎ鯨皮處理の爲め出發する南氷洋に從事し先づ鯨皮を第一圖南丸に冷凍し主に採香鯨及び長須鯨の鯨皮を採り明年三、四月頃內地に輸送し鶴見工場で近く製造を開始の豫定である

ゴム業者は工場休止

【神戶十四日發本社支局特電】為替管理の强化に伴ひゴム、パルプ業者は非常なる苦境に起つて居る

一期丸糯は割安視で買氣
市場に糯全盛の觀

【神戶十四日發本社支局特電】…

新丸糯一服

南巡炭の專用車を運…
鐵道部の計畫

日滿間の貨物運賃を一率に

【神戶十四日發本社支局特電】日滿關係の緊密化につれて兩國間の貨物運送は頻繁を加へて居るが從來國鐵、鮮鐵、滿鐵と違つた運賃率の爲め貨物運送に不便少くなかつたが鐵道省では各鐵道、船會社と既に協議中であつたが漸く一率の運賃に改正し來月十五日より實施となり小口貨物に鑑まり一率の運賃に改正…

小麥製粉活況

內外商況欄（十五日着電）

株式
新規材料なく無味保合に終る

兜町展望

北濱雜觀

米期
政策期待と東京高に跡反撥

堂島米況前場

堂島米況後場

堂島雜觀

米界餘聞

砂糖
嫌氣投げに下押

大阪砂糖清算後場

大阪砂糖現物

絲況

大阪綿絲後場

大阪棉花前場

大阪棉花後場

大阪人絹前場

大阪人絹後場

橫濱生絲前場

橫濱生絲後場

大阪重要商品（十五日本社特電）

東京市中コール（十五日本社特電）

日銀帳尻（十五日本社特電）

島內商況
正米市場　蓬萊小碇　丸糯保合

臺北肥料相場

臺中米價（十五日）

臺北籾相場

臺米現物相場

基隆在庫米

正米市場後場

穀肥
神戶豆粕後場
神戶穀肥市中相場
大連特產前場況
大連特產取引前場

大阪短期後場
東京短期後場
東京長期後場
大阪長期後場
大阪短期日步（十五日本社特電）

株式名義書換停止 昭和製糖株式會社

少年入用 建功神社々務所

料理 竹巴

毎週土曜肉食デー 神戶肉一割引 三谷軒

清酒 白鶴

高燥・閑雅・煤煙絶對にない健康地 基隆市 日之出土地商會

內科 小兒科 呼吸器病 台北市末廣町 淺井病院 入院隨意

お待ち兼ねの 本場甘栗 みりんやき ヒカル食堂本店

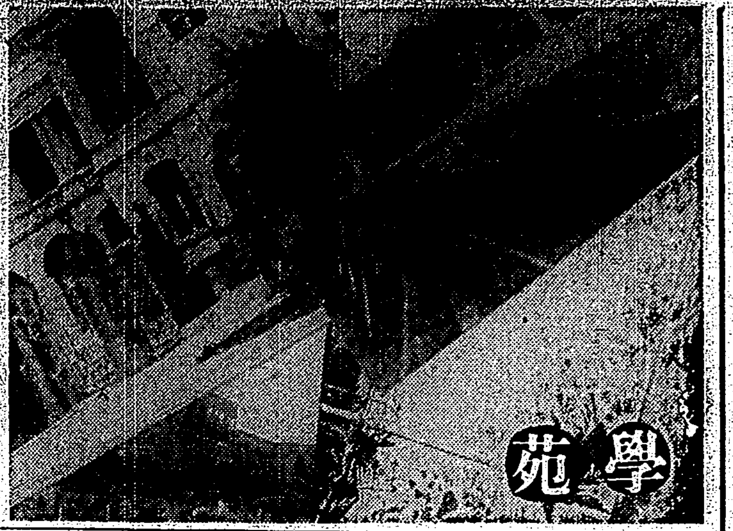
電話 債券買入 金融 三成社

まさかの時に役立つのは この金庫に限る 阿野金庫 臺北 長谷川商行

株式 期米 營業案內・商報贈呈 丸德商店

大阪商船 近海郵船 辰馬汽船 大連汽船

學苑



大學の講座制（一）
——主として法文系統の學部に於ける——
淡野安太郎

曾て我國の行政法の某大家が次の如く述懐されたことがある。

「自分は行政法の講座を担任して以來十年一日の如く行政法を講義して居る。しかし行政法の研究は決してそれだけで完結し得るものでもなければ、また完結すべきものでもない。行政法の根本問題を考へようと思へば、憲法の領域にまで進まねばならないのである。現に自分は非常な情熱を以て專ら憲法を研究して居る。しかし現在の大學では、行政法担外のものを講義することは自分には許されないのである。今後自分の根本的研究は自分を驅つて法理學の研究に向はしめるであらう（眞實また行政法と憲法と法理學の三部曲をまとめることは自分のひそかに懐く生涯の念願である）さうなつても自分は依然として「十年一日の如く行政法を講義して居なければならないであらう。しかし大學教授が現に最も強い情熱を以て研究しつゝあるテーマに出來るだけ近い問題のある講座を擔任することが結局——本人にとつては勿論大學のためにも學生のためにも一番いいことなのではあるまいか」と

×　×

一般に學問研究の發達が益々部門を狭くする傾向のあることは周知の事柄である。しかし云ふ迄もなく單に断片的な細かな知識を漁ることは、それだけでは決して學問の研究ではない。單に断片的な事柄を数多く知つて居るといふ事が學者の凡てであるならば、かかる學者は——印刷術の發達した今日——一冊の百科辞典の前に其存在理由を失つて了ふであらう。いかに細かな事柄を究める際にも常に根本的な立場への反省と結付けて考へる時、始めて其研究は學問研究として生きて來るのである。ところで茲で謂ふ「根本的な立場」なるものは決して、それだけが出來上つた形に於て何處にでもころがつて居るといつた風のものではない。根本的な立場そのものは決して外から與へられるものではなくして、研究者自身が一歩一歩努力して求めて行くの他はないのである。これ即ち眞にいのちある學問研究がつねに動いて行く所以である。

かくの如く學問研究自體は、それがいのちあるものである限り、つねに動いてやまないものであるにも拘らず、その研究に從事する人達に對して二十年一日の如く限られた範圍内の講義のみが要求され、万一他の講座に關係のある講義でもしようものなら越境問題すら惹起しかねまじき事態であるとすれば、かかる事態の要因となつて居る講座制そのものが生命ある研究者にとつて——桎梏とまでは行かなくとも——或種の苦痛と感ぜられることは當然であると云はねばならぬ。それがさまで苦痛と感ぜられない場合として大體次の二つの場合が考へられるであらう。その一は講義と研究とを截然分離して講義の方はなるべくあつさりと御茶を濁つて本人は専ら自己の研究に沒頭する場合であるが、かかる種類の講義のみで充たされることは學生のためにも大學のためにも決してこのましいことではないであらう。

その二は講座制の防壁の中にただ概論風の講義だけをして能事畢れりと安住する場合であるが、かかる「概論學者」の横行が學界のレベルを著しく低下させることは今更多言を要しないであらう。

×　×

私は大學の講座制が一概にいけないと云ふのではない。講座制が一方に於ては學問の獨立を許されたる範圍内に於て保證すると共に他方に於ては當事者をして自己の專門の學問を背負つて立つべき責任を自覺せしめ、以て我國の學問の發達に甚大なる貢獻を致したことは何人も否定することの出來ない事實である。ただ講座制といふ制度が——本來自己の主人であ

近詠
細谷雄二

學生大熊飛信君應召

出征に君たちゆきて檳榔の花咲きさかる[illegible]しも

○

朝やけの松山の空とどろきて空襲にたつ人ぞたふとし

○

空襲はいまかへるらし沒りつ陽の光の中にたかまる爆音

襲林大尉

しどろなる敵機の群を墜ちはたし火むらとなれり君が御靈は

○

何ゆゑか夜半寝ねがたくをりしとき南京爆撃の報とどきたり

悼大豊多千守君

クリークの水にぬかるむ岩みちさきがけゆきし君のおもほゆ

ひたむきに君たたかひて果てにけるクリーク地點を訪はむ日もがも

土壤學肥料學談話會

臺北帝大理農學部農藝化學教室第二講義室に於て開催せる中研農業部技手石丸謙氏の「栽培牧草として有望なる野草、ササキビに就て」並に新竹州技手吉丸熊雄氏の「肥料配合所概況」と題する講演の概況は次の通りであつた

▽「栽培牧草として有望なる野草ササキビに就て」（石丸謙氏）

抑々畜産業の發達は優良で低廉な飼料の供給に俟つ所が多い、近時本島に在りても農業の進展に伴ひ、馬產計畫の樹立せらるるに至つた、而て天然の牧草たる野草は農地開發の進展に伴ひ低減の傾向にあり、然も優良なるものは數種に止まり、且つ株分等によるが故に其の繁殖も亦困難なるものがある、然るに今述べんとするササキビは、一名フウロウ草とも稱せられ、性强靭にして土性に依らずして其の株本は全島に自生し繁殖力も亦旺盛なる野生にして將來性に富む有望なる牧草である、即ち多少の堆肥を施したならば年少くも四回の生草を收穫し得べく、ヘクタール當り六・三斤以上の收益を擧げ得るであらう、而て該草は可消化蛋白六・五％、澱粉一七〇％を含むが故にケルネル氏の分類に從へば中蛋白に屬するものである、尙ほ[illegible]よりも飼料價値大にして栽培法の如何に依りても品質向上を圖り得べきものであつて、將來性に富む有望なる牧草として今後の研究に俟つべきものが多いであらう

△肥料配合所概況（吉丸熊雄氏）

新竹州に職を奉ずる關係上、特に新竹州農會肥料配合所に就て其の概況を述ぶる所があつた、即ち昭和十一年に新竹州農會は桃園指定肥料配合所を設置した當初は各方面に注目せられたれども以後着々として土性並に作物別等による合理的施肥標準に準據して合理的肥料を配合した、其の結果は合理的肥料を從來の肥料に比して勿論、品質の向上せしむると共に、販價に且充分なる保證を以て安全に農家一般に配給せられたるを以て農家の一大福音となるに至つた、爾來、之に刺激され竹北、竹中、竹南及び高雄等の各州に於ても近時指定肥料配合所の設置を見るべきに至つた、仍て將來配合所は肥料の指導、販賣の機關となり益々肥料の合理化に邁進しなければならない

學苑原稿募集

學界の新研究、各學校内ニュース、その他學生の手になる兩々の原稿を募集する　四百字原稿用紙二枚以内。毎週月曜〆切。本社學藝部宛。

臺灣總督府圖書館 普通圖書
（十月九日新着）

秩父宮兩殿下御渡歐記錄　東京日日報社
臺灣都市計畫講習錄　小川廣吉
回天・神策　西井正一
法然と親鸞の信仰　倉田百三
倫理學　和辻哲郎
東洋古典物語　細田泉
最近教育心理學概要　小野久
正しい家庭教育の仕方　野瀬寛顯
諸大名の學術と文藝の研究　福井久藏
和歌俳句の解釋と鑑賞　加藤一郎
文學論序說　吉武好孝
朱鷺　吉江喬松
雪國　川端康成
動く日本　下村海南
思想と生活　北聆吉
英語論文の書き方　松本亨
日本歴史考古學　後藤守一
万物流轉　平泉澄
石原莞爾　西郷鋼作
工學博士長谷川謹介傳　長谷川博士傳記編纂會
世界小國地誌　國松久彌
南島論叢　伊波先生記念論文集編纂委員
滿洲國 日滿經濟五ケ年計畫　東亞人文研究所 小島精一
財政讀本　土方成美
現代社會思想講話　蠟山政道
新しい腦の衛生　富田十次郎

隨筆
B君とG君（上）
金關丈夫

一九二五年一月の或る日、パリ博物館の人類學研究所で仕事をしてゐる僕の肩を叩いて「君はブリチッシュか？」と尋ねる若い黒人があつた。

週に一度、此の研究室へやつて來て、ゴリラやシムパンゼの頭蓋を弄りまはしてゐる、同君の顔だけは見覺えがあつたが言葉をかけられたのは之れが始めてである。

結局僕が日本人だと判ると、彼は非常に喜んで、帰りに是非カフエーをつき合へと云ふ。

夫れから数時間の後、僕等は研究所を出ると、植物園を通りぬけて、リューモンジュの方へ歩いてゐた。Bはその途で次の樣な話をした。掻いつまんで云へば、

自分は英領ニゼリアの者である。物心がついて以來二十餘年、心膽に銘して覺え來つた事はたつた一つしかない。それは白人種の横暴である。幸ひ自分は裕福な家に生れたから、斯うしてパリに遊學する事も出來たのである。然し同胞の蒙る残虐を思へば、一日も安閑としてゐることが出來ない。

自分は將來科學者として、同胞を自然の暴威から救ふべく、パストール研究所に籍を置いて細菌學を研究してゐるが、それすら今は堪へられないやうな氣がする」彼は更に言葉を繼いで「自分が專門以外の人類學教室に通つてゐるのは何の為めだか、君は知らないだらう」と云ふ。

彼は類人猿と黒人と白人との頭蓋を比較して、白人が黒人より類人猿に近い点を見出すことに熱中してゐるのである。

僕は彼の異常な元氣に、最初は一たいどうなる事かと途方にくれてゐたが、ここで始めて大聲で笑ひたいやうな氣持ちになつた。然し僕はそれをおし抑へて「そんな事をして氣を紛らさねばならぬとは、甚だ氣の毒だ」と相槌を打つと「さうだ日本人にはそれが判つて貰へる。然るに此Rと云ふ奴は」彼は突然鉾先を教室主任の老教授に向けた。R教授は佛蘭西人類學界の泰斗であると共に、知識人反ファッショ協會の會頭である「此奴は身はアンチファッシストの會長であり乍ら、伊太利がエチオピアを、侵略することには、何の痛痒も感じないのだ。佛蘭西は既に或る代價を得て之れを默認してゐたからではないか。Rの如きは佛蘭西人の、否、白人の利己主義の權化のやうな奴だ。

僕等はカフエー、ラピラントの一隅に腰を下ろしてゐた。よせばいいのに、僕はまた相槌をうつた不思議なことには、伊太利自身は日本のまねをしてゐると思つてゐたのに、その頃日本では反伊太利の正義人道の聲が盛んに揚つてゐて、今にもエチオピアへ義勇軍でも出さうな形勢であつた、僕が日本の情勢を告げると、Bは大いに我意を得たり、と云ふ風にうなづき、さて僕にあたりを憚るやうな樣子をして僕の方へ顔をすり寄せ小聲で次のやうなことを云ふのであつた

「君を男と見込んで頼みを云ふが我々は單に手を束ねて悲憤慷慨してゐるのではない。英領西阿弗利加の各所には既に數万の同志がをり、戰ふに充分の武器を隱匿してゐる。ただ一つの物が手に入ればいつでも立つ事が出來るのだ。其の不足な物と云ふのは飛行機だ。之れさへあれば我々は必ず勝つ」「どうだらう。君は日本政府が我々に飛行機を送つて呉れると思ふか？」

……　……

之れには僕も手軽に相槌をうつわけにはゆかない。「それはインプロバブルであり、又恐らくインポシブルでもあらう君は一たい、日本と阿弗利加との間に三四の大國のあることを忘れてゐやしないか」と僕は答へた。

然し彼は樂天人種の名に背かず少しも意氣消沈しない。「そんなら要するに日本が早くヨーロッパまで出て來ればいいのだ。」恰も日本軍がウラルあたりへ來てでもゐるやうな事を云ふ。「それは實に易々たる事業ではないか」

彼はカフエーの中にゐる人々を見廻した。「見給へ、総ての白人は○○患者であり。すべての白人女は賣笑婦ではないか。こんな人種に何が出來ると云ふのだ。」

今は俄撃も何もあつたものではない。黒人特有の紅い口脣は花火のやうに燃え、得も云はれぬ臭ひのする鼻息を、僕の顔に吹きかける。僕は生理的にも既に辟易したから、最後にB君が更に彼の同志の二三の者に會つて呉れと要求した時には、完全に逃腰になつてしまつたのである。

と云つて、行きかかり上、すげなく斷るのも何だか心苦しく、人の悪い話ではあつたが、僕は自分が早晩巴里を去るべき人間であることを告げ、その代りとしてＧといふ男を紹介する事にした。

螢火親書受驗就職指南　大明堂三大受驗雜誌十一月特輯

高教中教實教本試受驗對策　文檢受驗生　11月號　定價五拾錢

昭和十二年　陸海空軍受驗大觀　受驗生臨時增刊號　軍人受驗寶典　定價六拾錢

專檢高資普文問題解答講評　受驗生　11月號　定價四拾錢

昭和十二年　教員入試問題大觀　教員受驗生增刊號　入試問題全集　定價六拾錢

男女高師入試教員檢定對策　教員受驗生　11月號　定價卅五錢

全國各地書店賣捌　東京市神田區小川町三丁目廿二番地　振替東京一七七八八番　大明堂發行

◇新開講・短期合格本位巡査就職講義　巡査講義　受驗養成　諸君の進路をここに求めよ。　受驗生社

日の出　十一月號　大好評

事變特輯　北支・上海の戰を觀る　吉川英治・木村毅對談會

陸海軍中堅將校六氏出席　空爆空襲を語る座談會

同盟ニュース記者二十名　上海支社にて支那機空襲最中に開催　上海從軍記者大座談會

海軍の空爆隊の實戰談を聽く　海軍省軍事普及部　梅崎中佐

上海美人便衣隊　其他　川島清

小説　空襲下の國境線　海野十三

定價六十錢　東京牛込　新潮社發行

秋飲んで殊更旨い筈です
冬でも旨い……
ポンパンなのです

ポンパンは林檎から釀造したシャンパンです　燗をしないで飲む酒ですが　然し林檎シャンパン獨特の味は冬でも旨いのです

更に秋に於ては　この酒のスッキリとした香り　澄みきつた美しい琥珀色　輕い明るい酔ひが　大氣の爽やかさと相俟つて　一層快適な氣分を醸します　尙いいことにはこの酒は榮養も極めて豊富です　御愛飲を願ひます